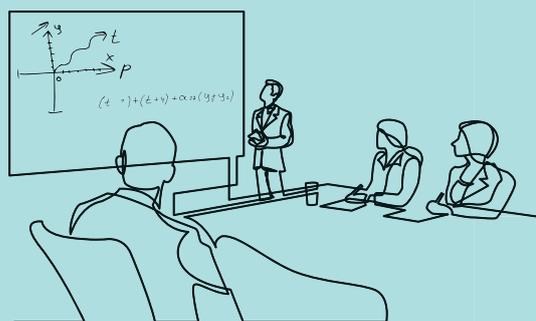


神奈川大学附属中・高等学校

2023 School Information Book

KANAGAWA UNIVERSITY
JUNIOR AND SENIOR HIGH SCHOOL



目次

神奈川大学附属中・高等学校の教育

建学の精神	2
スクールミッション・スクールポリシー	2
本校の特色	3

「学び続ける生徒」を育てるために

ICT教育	4
グローバル教育	4
STEAM教育	5
体験を重視した校外でのプログラム	6

6年間の学習

カリキュラムの特徴	7
WT(WeeklyTest)による学習サイクルと 学習習慣の確立(中学1年生・2年生:英語・数学)	7
英語・数学での少人数習熟度別授業 (中学1年生～高校1年生)	7
実践的な英語の授業・学習について	7
放課後自習室学習支援プログラム	8
勉強会(補習)・講習	8
各教科の6年間の歩み	9
教育課程表	11

神大附属の進路指導(キャリア教育・進路支援)

進路指導の考え方	12
生徒の目標を支援するための取り組み	12
海外協定大学推薦制度	13
神奈川大学への推薦制度	13
学校推薦型選抜	13
大学合格・現役生の進路状況	13
大学入試の合格状況	14
現役生の進路状況	15

神大附属の学校生活

神大附属生の日	16
在籍者・学級数	16
神大附属の生徒指導	16
個別の生徒支援体制	16
学校行事	17
部活動	19
制服	20
生徒の安全	21
保護者に関すること	21

資料

6年間総費用	22
在校生の通学地域	23

入試に関する資料

生徒募集要項	24
帰国生入試について	25
2023年度中学入試結果	26
6年間の入試結果の推移	27
教科別入試の傾向	29
Q&A	34

神奈川大学附属中・高等学校の教育

教育創業者
米田吉盛先生の教育理念

教育は人をつくるにあり

● 建学の精神

質実剛健

飾りがなく、
真面目でたくましく、
自らを律することができること。

積極進取

困難なことに対して
積極的にチャレンジする精神を持つこと。

中正堅実

物事の真理・本質を見極め、
主体性をもって新たな価値を創造すること。

「自ら考え、判断し、行動できる人へ」を合言葉に、これらの建学の精神にもとづいた教育活動を展開しています。

● スクールミッション・スクールポリシー

スクールミッション

神奈川大学創業者・米田吉盛先生の教育理念「教育は人をつくるにあり」のもと、建学の精神である「質実剛健」「積極進取」「中正堅実」を体現する人材を育成します。

人間形成のなかでもっとも大切ともいえる中学・高校の6年間において、本校は学び続ける生徒を育む学校として、教科学習はもとより、先進的な教育あるいは体験を重視したプログラムなど幅広い学びの機会を用意します。それらをもって、知力と人間力を養い、グローバルな視座から社会で活躍し、社会に貢献できる人間に成長していく。その人間性の土台を、本校はつくります。

また、本校はのびのびとした校風を堅持し、生徒の希望を確かに実現する高い進学実績とともに、信頼感のある地域で一番の中高一貫共学校を目指します。

スクールポリシー

● アドミッションポリシー(入学者受け入れの方針)

- ・基礎学力とともに、「なぜ」「どうして」と考える姿勢を身につけている。
- ・学んだ知識や技能を活用して、粘り強く取り組む姿勢を身につけている。
- ・教科学習はもとよりさまざまな教育プログラムに取り組み、仲間とともに成長しようとする意欲がある。

● カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施に関する方針)

- ・第1ブロック(中学1年生・2年生):確かな基礎力を育成するために、幅広く学びつつ、一部の教科で少人数授業を展開する。
- ・第2ブロック(中学3年生・高校1年生):自らの可能性を広げるための応用力を育成するために、幅広く学びつつ、一部の教科で少人数かつ習熟度別の授業を展開する。
- ・第3ブロック(高校2年生・3年生):学習の深化を図り、希望する進路実現のための実践力を育成するために、進路に応じた選択科目の設定とコース制を展開する。
- ・6年間を通して、さまざまな事象や課題に視野を広げるとともに、社会との架け橋とするべく、探究活動や校外学習などの体験重視プログラムを展開する。

● グラデュエーションポリシー(育成を目指す資質・能力に関する指針)

- ・自らの潜在的な能力や可能性に目覚め、進むべき道を切り拓くことができる。
- ・変化する社会で生きていくための学び続ける姿勢を身につけている。
- ・自ら考え、判断し、行動するとともに、他者を尊重し、他者と協働的に取り組む姿勢を身につけている。

● 本校の特色

広大なキャンパスと「のびのび」とした校風

横浜市立小学校平均の約13倍という、広大で自然豊かなキャンパスです。木々や草花、鳥のさえずりから四季の移ろいを感じながら、学校生活を送ることができます。正門から続く銀杏並木、シンボルツリーのくすのき、時計塔が印象的な白い校舎、広々としたグラウンドが生徒たちを出迎えます。キャンパス内には蛍やたぬきも生息しています。

本校には「のびのび」として穏やかな生徒が多いですが、それとともに「勉強も、部活動も、学校行事もがんばる」を通して、何かを成し遂げようとするチャレンジ精神や志といった「たくましさ」も備わっています。広大なキャンパスで展開される日々の活動が、生徒の雰囲気をつくりだしていきます。

本校の生徒は男女の仲が良いとよく言われます。日頃の授業、学校行事、課外活動などを通じて、男女の関わりと理解がすすんでいるからです。男性であれ女性であれ誰であれ、お互いを受け容れ、理解し、関わりをつくる。そのような生徒の関係性も、「のびのび」を支える要素になっています。

1学年220名程度の完全中高一貫共学校

高校からの入学者がいない、1学年220名程度の完全中高一貫校です。この規模だからこそ、生徒も教員もお互いの顔が見え、お互いの理解を深めることができますといえます。6年間のさまざまな活動を通じて、生徒たちはお互いに「認め合い、学び合い、高め合う」関係を築いていきます。

「大学受験は団体戦」といわれることがあります。その意味は、「みんなでそれぞれの目標に向かってがんばろう」という雰囲気、あるいは「認め合い、学び合い、高め合う」関係が個人の力を高めていくという点にあります。そのような「集団の力」を、6年間を通じて創り出していきます。

大学附属校でありながら、国公立大学をはじめとする多様な進路を支援

本校は神奈川大学の附属校でありながら、90%以上の生徒が国内の他大学や海外大学へ進学する「進学校」です。学年の60～70%の生徒が国公立大学、早慶上理、GMARCHといった大学に進学しています。なお、神奈川大学への推薦の権利を有しながら大学受験にチャレンジすることもできます。また、本校にはイギリス、アメリカ、オーストラリアの36大学との間で「海外協定大学推薦制度」(P.12)があり、日本の大学受験と並行して海外大学進学を視野に入れることもできます。

生徒が希望する進路の実現のために、講習(通年・長期休業中)、卒業生の学習コーチ、東大生セミナー(高い志を持つためのプログラム)など、充実した進路サポートがあります。さらに、「放課後自習室学習支援プログラム」(P.8)による、学校完結型・自律型の学習環境も備えています。

希望する大学に合格することは最大の目標です。しかし、本校ではそれのみを目的とせず、「自らの進路・進学に向き合うことを通じて、人間的な成長を遂げる」ことを目的とした進路指導・進路支援を展開しています。

先進的な教育に挑戦

Society5.0やVUCAのように未来の社会像がさまざまに語られています。未来の社会を生きていく子どもたちにとって、「自らの意志で学び続けること」(主体性)や「多様な他者と協力して何かをすること」(多様性・協働性)が必要な資質であることは間違いありません。ICT教育、グローバル教育、STEAM教育、探究活動を通じて、生徒は「何を学び、なぜ学ぶのか」を考えるようになり、これからの社会で生きていくための可能性を広げていきます。

生徒の主体性や協働性を引き出し「学び続ける生徒」を育てる、本校が先進的な教育に取り組む理由がここにあります。

その他(概要)

- 授業は月火7時間、水～金は6時間、土は4時間の週36時間。
- 部活動は4日以内(講習や探究活動など生徒の放課後の活動とのバランスを考慮)
- 通年講習(中学3年生～高校3年生)、勉強会(補習:中学1・2年生)、卒業生学習コーチによる学習・進路支援、長期休業期間での講習・補習など、生徒一人ひとりの学びをサポートする体制。

本校は、

- ☑ 開校以来の「のびのびとした校風」の堅持
- ☑ 生徒の希望を確かに実現する「高い進学実績」
- ☑ 信頼感のある「地域で一番の中高一貫共学校」を目指しています

「学び続ける生徒」を育てるために

● ICT教育

ICT教育が目指すもの

ICTを活用することで授業デザインを見直し、主体的で深い学びを展開することを目指しています。それとともに、探究活動や、学習管理システムを活用した自己管理や、探究活動を通して、生徒の主体性と協働性を引き出していきます。「環境を整備して使い方を習得すれば、生徒は自走する(自らどんどんやる)」ということ、実感しています。

ICTスキルを身につけることはもちろん、プログラミング、デジタルデザイン、プレゼンテーションなど創造的な学びを展開し、未来社会をリードする人材へと育てる。これも本校がICT教育で目指していることです。本校ではICTの活用により、学力とともに、社会で求められる資質と「力」の土台を形成します。

本校のICT環境と1人1台タブレットPC

本校では、生徒と教員全員がタブレットPCとクラウドシステムを使って、授業やホームルーム活動等を行っています。コロナ禍においても、Zoomなどを使ったオンライン授業、ホームルーム、個人面談などを「当たり前」のように行いました。また、全教室にWi-Fiと電子黒板を完備し、WindowsとMacに特化した2つのコンピュータ教室もあります。

中学1年生の1学期から生徒は1人1台タブレットPC(Microsoft Surface Go)を持ち、授業、宿題、探究活動、家庭学習、校外学習をはじめ課外活動などに活用しています。Classiという学習管理システムを中心に、毎日の連絡事項、授業教材の配信、課題の提出、さまざまな活動の振り返りなどを行います。自らの学習状況や評価にいつでもアクセスし、視覚化できるため、生徒が自己管理能力や自らを客観的に見る力を高めるのに役立っています。

6年間で身につけるスキルとリテラシー

教育用アプリとして、ロイロノートやMicrosoft 365、Adobe Creative Cloud、College Pathway(英語eラーニングシステム)を使い、効果的な学習を展開します。また、技術(中学)や情報(高校)の授業では、タイピングから始まり、Word・Excel・PowerPoint、LEGOセンサーロボット制御、映像編集、さらにはプログラミング言語(Python)でアプリ制作まで行います。2025年度から大学入学共通テストで「情報」が導入されますが、十分に対応できると考えています。

これらのスキルが各教科の学習、探究活動、学校行事や校外学習などで活用され、ICTを適切に利用・活用するリテラシーと、情報を適切に理解・分析し表現する情報リテラシーを身につけていきます。

● グローバル教育

グローバル教育が目指すもの

本校が目指すグローバル教育は、単に英語力を高めることのみを目標とするのではなく、生徒一人ひとりの「世界を見る目」を養うこと、「世界の中で生きる力」を育むことを目標としています。そのために、自分と「世界」との関わりを自覚し、多様な「他者」との交流を通じて「自分は何者なのか」「どうあるべきか」を考えることを意図したプログラムを展開しています。それらは時として、生徒に対してカルチャーショックを起こさせたり、それまでの自分を突き崩し、新たな自分を創り出したりするものでありたいと考えています。本校で培ったグローバルなマインドをもって、海外大学への進学をかなえることも具体的な目標の1つとなります。

次の言葉は卒業式での答辞の一部ですが、本校のグローバル教育の本質を示しているといえます。

グローバル化した社会に出て重要になるのは、どんな相手にも「あなたと一緒に働きたい!」と思ってもらえるかどうかだと私は思います。グローバル化した社会では、自分とは言語も、文化も、価値観も全く違う人と関わることになります。そんな状況下では、自分と相手との違いを認め合う努力をし続け、互いに尊敬しあえる関係になれるか否かが非常に重要になるでしょう。その根幹となる人間性を私はここで学びました。

英語コミュニケーション力を高めるためのプログラム

●Breakthrough English Camp

中学1年生～中学3年生を対象とした3日間の「英語漬け」の通学プログラムです。出身地がさまざまなネイティブ講師と英語を楽しく学びつつ、自分のキャリア形成や社会的な課題についてのプレゼンテーションを行います。Breakthroughの名の通り、自分の殻を破り、それまでの自分を超越するためのプログラムです。

●英会話授業

中学1年生～高校1年生まで週1回、1クラスを2分割した少人数で実施しています。英語圏出身のネイティブ教員とのコミュニケーション活動を展開します。高校1年生ではオンライン英会話授業もあります。

●オンライン英会話講習

中学1年生から参加できる希望制の講習です。放課後のコンピュータ教室では海外の講師と1対1で会話を楽しむ姿が見られます。

海外研修

中学3年生～高校2年生の希望者を対象に、3つのタイプの海外研修を実施しています。

●問題解決型(ベトナム)

地域的・社会的な課題に対して、現地での実習や起業家を含めた様々な人々との交流を通して、解決の方法を考え、実際に行動することを中心としたプログラムです。

●語学型(セブ島)

フィリピンのセブ島で「英語漬け」になり、英語コミュニケーション力を集中的に高めることを目的としたプログラムです。

●国際交流・文化体験型(イギリス)

イギリスのコッツウォルズ地方でのホームステイや、現地の学校施設を利用した語学・体験プログラムなどを通じて、交流や文化体験をするプログラムです。

海外留学制度

所定の条件を満たした上で、最大1年間の長期留学と、最大5か月間のターム留学をすることができます。

● STEAM教育 Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工学)、Art(芸術)、Mathematics(数学)

探究の時間

中学3年生と高校1年生で合同で実施します。生徒は20以上あるゼミの中から自分の興味のあるゼミに所属し、チームまたは個人で年間を通じて探究活動に取り組みます。リサーチクエスト(課題設定)を立て、先行研究の整理、調査・実験などによるデータ収集を通して、分析・考察し、中間発表を経て、論文を執筆します。

「探究の時間」では教員からの指示は最小限とし、教員はアドバイザー・ファシリテーターに徹します。生徒はICTを活用しながら、データの収集やアンケート調査、関係者へのヒアリングなどを行います。ヒアリングの対象は海外に及ぶこともありますが、それもすべて生徒が自分たちでアポイントを取ります。「自分たちで、どんどん進めていく」ようになります。

「探究の時間」を通じて、生徒は主体性と協働性に磨きをかけていきます。また、お互いの探究の内容を共有することで相互に刺激し合い、生徒が成長する機会にもなっています。さらに、「何を学び、なぜ学ぶのか」を考える契機となり、生徒が自らの進路につなげていくことが期待されます。

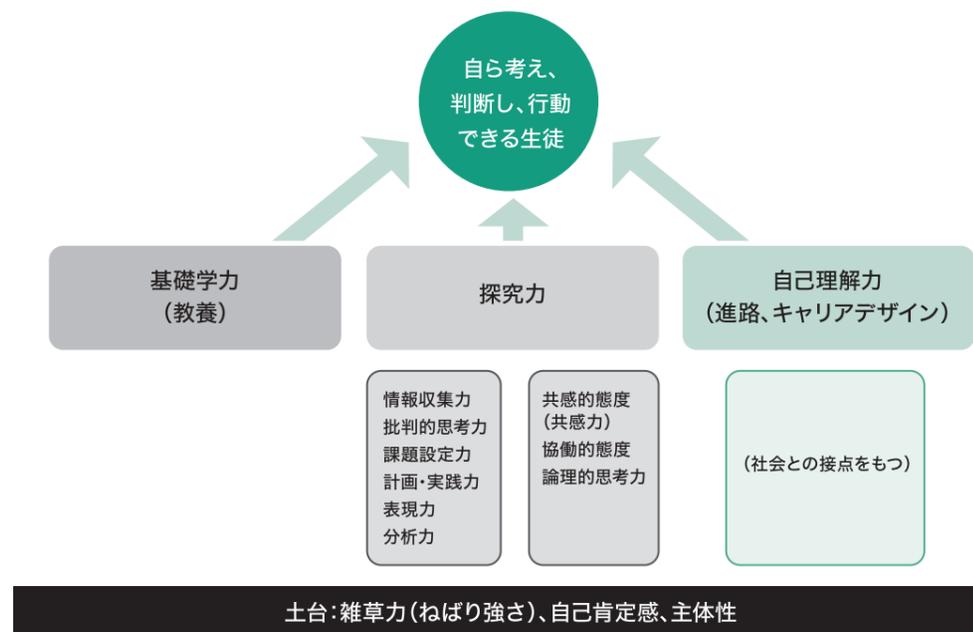
リサーチクエストの例(2022年度)

- ・がん免疫療法の現状の問題点の克服は可能か
- ・運動後の疲労を軽減する最適な方法とは
- ・アイスランドのジェンダーレス政策を日本に取り入れることは可能か
- ・ドイツの難民受け入れから日本は何を学べるのか
- ・急須の構造を調べ、より利便性の高い商品提案をするためにはどうしたらよいか

なお、高校2年生では「探究講習」が開講されており、希望者がそれぞれの探究を深めるとともに、次のような外部のコンクール等で実績を出す生徒もいます。

模擬国連(国内最終選考会に出場)、世界環境学生サミット(ファイナリストに選出)

全国中学高校Webコンテスト(総務大臣賞受賞に選出)



神奈川大学との高大連携プログラム

神奈川大学の研究室の指導のもと、希望者を対象としてDNA講習や宇宙エレベーターロボット製作を実施しています。これらは、アカデミックな雰囲気を感じたり、自分の関心のあることにとことん取り組んだりする機会となっています。このような活動ができるのは大学附属校のメリットといえます。

● 体験を重視した校内外でのプログラム

校外学習

●中学1年生 箱根校外学習

プロジェクトアドベンチャーなどで仲間とともにチャレンジし、課題を克服する体験をします。

●中学1年生・中学2年生 地域調査

自分たちで決めたテーマに沿った計画を立て、横浜や鎌倉で日帰りの班活動をします。

●中学2年生 スキー教室

スキーの経験や技術によるクラスの枠を外した班編成で、スキーのレッスンをし、寝食を共にします。3泊4日とともに過ごす中で、新たな人間関係をつくるとともに、達成感と充実感が得られます。岩手県・安比高原で行います。

●中学3年生 奈良・京都校外学習

全体で行動する場面はほとんどなく、生徒たち自身が計画を立てて自主行動をする「自分たちでつくる校外学習」です。実際に行って、見て、「文化財の素晴らしさ」を実感する、そんな4日間です。

●高校1年生 沖縄校外学習

中学3年生の奈良・京都と同様、全員で行動する場面はほとんどなく、歴史、社会、文化、自然などそれぞれの関心によって計画を立て、自主行動をします。「沖縄で学び、沖縄から学ぶ」、味わい深い旅となります。

鑑賞教室

日本の文化や芸術に触れる活動として、鑑賞教室を実施しています。

●中学3年生 歌舞伎鑑賞教室

●高校1年生 能楽鑑賞教室

●高校2年生 ミュージカル鑑賞教室

その他

●中学2年生 福祉体験

●中学3年生 いのちの授業

新生児医療の最前線に立つ医師による講演会。新生児集中治療管理室の現実や、そこに関わる人々を知り、「いのち」について考える機会となります。

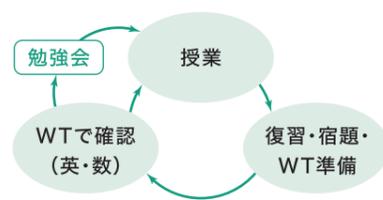
6年間の学習

カリキュラムの特徴

- ・6年間を通して、国公立大学進学を見据えたカリキュラムを編成しています。
- ・中学段階では、英語、数学、国語の時間を増やしながらも、実技教科も含めてバランスよく学びます。
- ・中学3年生・高校1年生の「探究の時間」では、自分たちで「問い」を立て、研究方法を学びながら、主体性や協働性を磨きます。「探究の時間」を通じて「何を学び、なぜ学ぶのか」に向き合うことで、自らの進路につなげていきます。
- ・高校では、大学受験を見据えて2年生から文系・理系に分かれた授業を展開します。3年生では英語や体育など全員共通の科目に加えて、進路に応じたさまざまな選択科目を学びます。2024年度より段階的に、高校2年生以上においてI型・II型のコース制を導入します。I型は東大、東工大、一橋大、旧帝大を目指すコース、II型は難関国立大、難関私大(早慶)を目指すコースです。

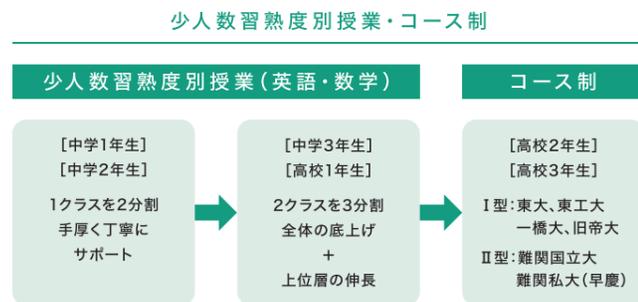
WT(WeeklyTest)による学習サイクルと学習習慣の確立 (中学1年生・2年生:英語・数学)

- ・毎週月曜日1時限に英語と数学のWT(WeeklyTest)を実施しています。WTとは前週に学習した基礎的内容が理解できているかを確認するためのテストで、その結果が不十分と判断された場合は、放課後に指名による「勉強会」(補習)に参加し、学び直しを行います。
- ・生徒は、WTに取り組む中で「授業→復習・宿題・WTの準備→不十分ならば勉強会→授業→…」という学習サイクルと学習習慣を確立していきます。



英語・数学での少人数習熟度別授業(中学1年生～高校1年生)

- ・中学1・2年生の英語と数学の授業では、1つのクラスを2分割した少人数授業を展開しています。生徒一人ひとりの理解度やつまずきを把握し、手厚いサポートをしています。
- ・中学3年生では、大学受験に直結した高校の内容を学習します。そこで、中学3年生・高校1年生では2つのクラスを3分割(1授業クラスあたり25名程度)する「少人数」とともに、1つを上位クラス、2つを標準クラスとする「習熟度別」の授業を展開します。これにより、上位層の伸長を図りつつ、一人ひとりを手厚くサポートします。



実践的な英語の授業・学習について

- ・近年、多くの大学が一般入試において英語外部検定を活用しており、今後もその活用が拡大していくことが予想されます。本校では、実用英語技能検定を導入し、英語4技能(読む・聞く・書く・話す)の伸長に中学1年生から取り組みます。
- ・中学1年生～高校1年生では週に1回、英語圏出身のネイティブ教員が担当する「英会話」の授業を行っています。この授業では生徒の英語コミュニケーションの機会が増えるよう、1クラスを2分割して展開しています。
- ・高校1年生では「英会話」の授業に加えて、「オンライン英会話」の授業も行っています。また、他学年の生徒も希望制で放課後の「オンライン英会話講習」を受講することができます。

放課後自習室学習支援プログラム

- ・本校ではこれまでも生徒や保護者に「塾に行かなくても大丈夫です」と伝えてきましたが、高校2年生頃から一定数の生徒が通塾するという現実がありました。その理由の多くが「最寄りの駅・沿線での自習スペースの確保」であったため、これまでの自習室の運用を大幅に見直し、放課後自習室学習支援プログラムを始めることとしました。
- ・このプログラムの目的は、学校完結型・自律型の学習環境をつくり、生徒の学校生活・学習を支援することにあります。放課後、4号館という校舎をまるごと自習室とし、中学1年生～高校3年生まで利用することができます。自習とともに、必要に応じて本校卒業生の大学生・大学院生を含めた学習コーチのサポートを受けることもできます。
- ・中学1・2年生は19:00まで、中学3年生～高校2年生は20:00まで、高校3年生は21:00まで利用することができます。これにより、中学生は「部活動の後に復習・宿題などの学習を学校で完結させる」ことができ、高校生は部活動と両立しながら、「自らの進路実現に向けて、学校でとことん取り組む」ことができる環境が整いました。

放課後自習室学習支援プログラム

- ◆ 4号館という校舎を、放課後まるごと自習室に
- ◆ 自習のほかに、学習コーチによるサポートも
- ◆ 利用は全年齢
 - ・中学1・2年生は19:00まで
 - ・中学3年生～高校2年生は20:00まで
 - ・高校3年生は21:00まで

中学生
部活動の後に復習・宿題などの学習を学校で完結させる

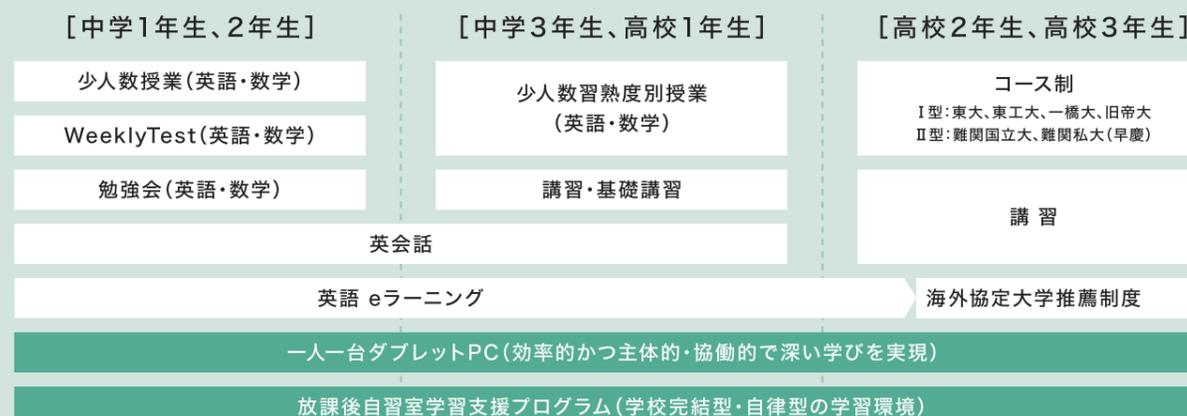
高校生
部活動と両立しながら、自らの進路実現に向けて、学校でとことん取り組む

学校完結型・自律型の学習環境

勉強会(補習)・講習

- ・中学1・2年生の英語と数学ではWTによる毎週の勉強会とともに、長期休業中にも指名制の補習を行い、学習内容の理解と定着を支援しています。中学3年生・高校1年生でも、必要に応じて補習的な内容の基礎講習を実施し、同様の支援を行っています。
- ・中学3年生からは、通年講習(放課後)や長期休業中の講習が希望制で開講されます。通常の授業では扱わないより高いレベルの内容や、大学入試に直結する内容に取り組みます。通年講習は約20講座、夏期講習は約50講座開講されます。なお、長期休業中に補習講習期間を設定し、補習講習は午前、部活動等は午後に行っています。
- ・中学3年生・高校1年生では、成績上位者(希望者)を対象に夏期特別講習を実施しています。
- ・講習は、中学3年生・高校1年生では英語と数学が中心ですが、高校2年生以降では、大学受験を見据えたさまざまな講座、例えば「英作文添削コース」「数学III入試問題演習」「国公立2次対策現代文」「分子生物学実験」「日本史重要史料の確認と演習」などが設けられています。

神大附属の学習環境



各教科6年間の歩み

	成長期 基礎力の完成	
	中学1年生	中学2年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●現代文:小説・評論・詩歌で読解力を培い、報告や意見・感想の文章化で表現力を養う ●古文:有名古典冒頭の暗誦、説話などの読解を通して古文に慣れ親しむ ●漢文:漢文訓読の基礎を学び、故事成語を読んで漢文に親しむ ●漢字検定3級の取得をめざす ●探究学習:シンキングツール等を活用し、課題の設定や情報収集の基本的なスキルを身に付ける 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ●数学の学習に必要な基礎学力の定着を図る ●中学3年間の学習内容を終える 	
英語	<ul style="list-style-type: none"> ●音読を中心に英語特有の文の構成に慣れ、四技能の基礎力を養う ●英単語コンテストを通して、最終的に高校入試レベルの語い数まで増やす ●eラーニングでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●高校の学習内容を一部取り入れながら、地理的分野と歴史的分野を並行して2年間学習する ●解説文や統計・地図・絵画・史料など各種資料を読み取る力を育成し、社会科学習の基礎的な理解を深める 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●1分野(物理・化学)と2分野(生物・地学)を並行して学び、中学3年間の学習内容を終える ●実験や観察を通して、理科の基本的な「学び方」を体験的に身につける 	
芸術	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●リコーダー演奏、発声法、楽典など基礎的な音楽知識の習得を図る
	美術	<ul style="list-style-type: none"> ●絵画・彫刻の基礎的な知識、表現や技術を学習する
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。体作り運動・水泳(クロール)・マット運動・ダンス・持久走・バスケットボールの実技と保健を学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎体力と表現能力を高めるために様々な身体活動を行う。体作り運動・鉄棒・水泳(平泳ぎ)・バレーボール・持久走・フットサル・剣道の実技と保健を学習する
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●技術分野では製図法を学び、ラジオを製作する。 ●家庭分野では調理の基礎と被服の基礎を学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術分野では木材を使った本棚を製作する。 ●家庭分野では調理実習と被服実習でミシンの基礎技能を学ぶ
情報	<ul style="list-style-type: none"> ●1人1台タブレットを購入し、授業や宿題で活用する ●生徒用アカウントでログインし、学校や家庭のコンピュータネットワークについて学習する。 ●情報モラルを身につけ、インターネットやSNSを正しく活用する能力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ●Microsoft365、Classi、ロイロノートを活用し、ICTリテラシーを身につける。 ●プログラミング教育の実施 ●タッチタイピングの習得
学習(探究)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域調査 ●国際理解:英会話・Breakthrough English Camp 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域調査 ●国際理解:英会話・Breakthrough English Camp

	発展期 応用力の育成	
	中学3年生	高校1年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●現代文:小説・評論・詩歌で読解力を高め、調査報告を通して言語表現の充実を図る ●古文:徒然草・今昔物語集・奥の細道・和歌などを読解し、文語文法を理解する ●漢文:様々な作品の読解を通して、漢文の構造・句法を理解する ●漢字検定2級の取得をめざす ●探究学習:自分に必要な情報を探し、集めた情報を整理・分析する 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ●高校数学の基礎の定着と応用力の育成を図る ●中学3年から高校の内容(数学I・数学A・数学II・数学B)を学習する 	
英語	<ul style="list-style-type: none"> ●複雑な構文の文章に慣れるとともに、パラグラフの展開を意識した読解力をつける ●オンライン英会話を通じ、英語での発話に慣れる ●eラーニングでは自ら定めた目標に対し、学習計画を立案し、オンラインプログラムを活用しながら自己の英語運用能力の伸長を図る 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●公民的分野(政治や経済のしくみなど)について、高校の学習内容も取り入れながら学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ●中学での学習を土台にして歴史総合と公共を学習し、高校における地理歴史・公民学習の基礎を形成する
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●中3から高校の内容(物理・化学・生物)を学習する ●実験や観察により科学的思考力を高め、大学受験に対する基礎を固める 	
芸術	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ●混声四部合唱、三線の演奏を通して、音楽的表現力の向上を図る
	美術	<ul style="list-style-type: none"> ●名画のコラージュ模写の制作を通して、色・形などに対する表現力を高める。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ●体作り運動・硬式テニス・水泳(背泳ぎ)・陸上(走跳投)・持久走・ソフトボール・剣道の実技と保健を学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ●体作り運動・バレーボール・サッカー・水泳(バタフライ)・持久走・マット運動の実技と保健を学習する
技術家庭		
情報	<ul style="list-style-type: none"> ●レゴスバイクプライムで宇宙エレベーターロボットを製作し、プログラミングする。 ●画像処理、音声編集、プレゼンテーションデータなどデジタルコンテンツの制作 ●インターネットのしくみやセキュリティなど情報学の知識やスキルの習得 	<ul style="list-style-type: none"> ●AI開発を通じたデータ分析スキルの習得 ●Adobe Creative cloudを使って情報デザイン ●ムービーの制作、DTMで作曲、python、JavaScriptでプログラミング
学習(探究)	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解:英会話・Breakthrough English Camp ●探究の時間 	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解:英会話 ●探究の時間

	飛躍期 進路に応じた実践力の育成	
	高校2年生	高校3年生
国語	<ul style="list-style-type: none"> ●現代文:小説・評論・詩歌などで読解力の充実を図る ●古典:様々な作品(古文:枕草子・源氏物語・大鏡、日記・評論など/漢文:史記など)の読解を通して実力を養い、文法・単語・文学史・句法についての総まとめを行う ●大学入試に向けた問題演習を通して総合的な実力を養う 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ●文理に分かれて全員が数学を学習する ●進路に応じて必要な科目を選択履修する ●文系:数学II・数学B・数学C(ベクトル)を終了後、大学入試に向けての演習を行う。 ●理系:数学II・数学B・数学III・数学Cを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進路に応じて必要な科目を選択履修する ●数学的思考力や表現力を高め、大学入試に適應できる力を身につける
英語	<ul style="list-style-type: none"> ●精読を通して文構造を理解し、速読を通して全体の流れを追う力を養う ●外国人講師とのペアティーチングによる英作文の授業の中で自己表現力を身につける ●英語特講では長文読解の問題演習を行い、スピーディかつ論理的に読み問題を解く力を伸ばす 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ●全員が地理総合を学習する ●文系は、自身の学習や進路に応じて、世界史探究、日本史探究から1科目履修する 	<ul style="list-style-type: none"> ●自身の学習や進路に応じて、地理、世界史、日本史、政治・経済、倫理の中から選択履修する ●大学入試に対応できる力を養成する
理科	<ul style="list-style-type: none"> ●進路の希望に応じて、物理・化学・生物・地学の中から選択履修する ●大学入試に対応できる力を養成する 	
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習という観点から授業展開を行い、同時に「将来への実現」という観点からも、より高度で専門的な授業展開を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学受験に沿って個別指導による授業展開を実施する
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ●体作り運動・バスケットボール・水泳(個人メドレー)・硬式テニス・持久走・陸上(投てき種目)の実技と保健を学習する 	<ul style="list-style-type: none"> ●5年間の総復習を通して生涯スポーツについて考察し実技を行う
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ●衣・食・住・消費生活分野で、持続可能な社会をつくるために、身近な生活問題と社会的な課題を学ぶ。 	
情報		<ul style="list-style-type: none"> ●大学入学共通テスト対策の演習
学習(探究)	<ul style="list-style-type: none"> ●進路理解:大学学部学科説明会 	

数学・英語の主な使用教材

学年	教科書	出版社
中1	体系数学1 代数編	数研出版
	体系数学1 幾何編	数研出版
	体系問題集 数学1 代数編 発展	数研出版
中2	体系問題集 数学1 幾何編 発展	数研出版
	体系数学2 代数編	数研出版
	システム数学2 幾何・統計編	啓林館
中3	体系問題集 数学2 代数編 標準	数研出版
	システム数学2 幾何・統計編 問題集 3rd Edition	啓林館
	数学I	数研出版
高1	数学A	数研出版
	新課程 教科書傍用 4STEP 数学I+A	数研出版
	数学II	数研出版
高2	数学B	数研出版
	新課程 教科書傍用 4STEP 数学II+B	数研出版
	数学III	数研出版
高3	数学C	数研出版
	新課程 教科書傍用 4STEP 数学III	数研出版
	WINSTEP 数学I・A Standard[新課程版]	ランズ
	WINSTEP 数学II・B・C Standard[新課程版]	ランズ
	四訂版 オリジナル・スタンダード 数学演習III 受験版	数研出版
	攻略! 共通テストPick Up 128 数学I+A, II+B	東京書籍
	四訂版 クリア数学演習 I-II・A・B 受験編	数研出版

学年	教科書	出版社
中1	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1	Z会出版
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage1文法問題集	Z会出版
中2	Active Phonics	正進社
	聞きトレ64 1年	浜島書店
中3	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2	Z会出版
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage2文法問題集	Z会出版
高1	聞きトレ64 2年	浜島書店
	英単語ターゲット1400 5訂版	旺文社
高2	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage3	Z会出版
	Listening Trial stage1.5	文英堂
高3	Sirius 21 英語vol.3 発展編	育伸社
	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage4	Z会出版
	Vintage 英文法・語法	いづな書店
	総合英語Evergreen English Grammar 47 LESSONS	いづな書店
	総合英語Evergreen English Grammar 47 LESSONS Workbook	いづな書店
	オンライン英会話	ウェブリオ
	英語長文演習シリーズ SWITCH4 New Edition	文英堂
	英単語ターゲット1900 6訂版	旺文社
	NEO現代を見る Approach 3rd Edition	いづな書店
	共通テストリスニング分野別10 min.	エミル出版
	英文読解 FOCUS 和訳編	Z会
	NEO現代を読む [Standard] New Edition	いづな書店
	大学入試完全攻略講座④ 英語長文演習【入門編】	桐原書店
	Change the world (Standard)三訂版	いづな書店
	Cutting Edge 2022 Orange (英文構造解説付き)	エミル出版
	SKYWARD COSMOS Course 最新入試英語長文20選	桐原書店
	パワーマックス英語リスニング×8	Z会
	パワーマックス英語リーディング×8	Z会
	Write it Right 英作文	数研出版
	Make Progress in English Reading	数研出版

教育課程表

●中学校

	1年	2年	3年
1	国語(5)	国語(6)	国語(6)
2			
3			
4			
5			
6			
7	数学(6)	数学(6)	数学(6)
8			
9			
10			
11			
12			
13	英語(5)	英語(5)	英語(6)
14			
15			
16			
17			
18			
19	社会(4)	社会(4)	社会(4)
20			
21			
22			
23			
24			
25	理科(4)	理科(4)	理科(4)
26			
27			
28			
29			
30			
31	音楽(1.5) 美術(1.5)	音楽(1) 美術(1)	音楽(1) 美術(1)
32			
33			
34			
35			
36			
37	保健体育(3)	保健体育(3)	保健体育(3)
38			
39	技術・家庭(2)	技術・家庭(2)	技術・家庭(1)
40			
41	WT(1)	WT(1)	道徳(1)
42			
43	道徳(1)	道徳(1)	学級活動(1)
44			
45	学級活動(1)	学級活動(1)	英会話(総合)(1)
46			
47	総合学習 (英会話を含む)	総合学習 (英会話を含む)	探究の時間(1)
48			

※総合学習の一部は、期間を定めて集中的に実施しています。
※WT：確認テスト Weekly Tests

●高等学校

	1年	2年		3年	
		文系	理系	文系	理系
1	現代の国語(3)	論理国語(3)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)	英語 コミュニケーション Ⅲ(4)
2					
3					
4					
5					
6					
7	言語文化(3)	数学Ⅱ 文(4)	数学Ⅱ 理(4)	A	論理・表現Ⅲ(2) (習熟度別授業)
8					
9					
10					
11					
12					
13	歴史総合(2)	数学B (2)	数学B (3)	B	体育(3)
14					
15					
16					
17					
18					
19	公共(2)	地理 総合(3)	地理 総合(2)	C	文学 国語(4)
20					
21					
22					
23					
24					
25	数学Ⅰ(4)	古典 探究(4)	化学 (4)	D	数学Ⅲ (5) / 数学 総合(3)
26					
27					
28					
29					
30					
31	数学A(2)	日本史 探究(5)	世界史 探究(5)	E	古典 探究(4)
32					
33					
34					
35					
36					
37	情報Ⅰ(2)	地学 基礎(2)	物理 (3)	生物 (3)	数学C (2)
38					
39					
40					
41					
42					
43	科学と 人間生活(2)	物理基礎 (2)	生物基礎 (2)	F	化学 特講Ⅰ (2)
44					
45					
46					
47					
48					
49	化学基礎(2)	地学 基礎(2)	古典 研究Ⅰ (2)	G	日本史 特講(4)
50					
51					
52					
53					
54					
55	体育(2)	体育(2)	物理特講 (4)	生物特講 (4)	現代文 研究α/β (2)
56					
57					
58					
59					
60					
61	保健(1)	保健(1)	数学研究 α(4)	D	古典研究 Ⅱα/β (2)
62					
63					
64					
65					
66					
67	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/ 工芸Ⅰ(2)	英語 コミュニケーション Ⅱ(5)	英語 コミュニケーション Ⅱ(5)	H	公共特講 (2)
68					
69					
70					
71					
72					
73	英語 コミュニケーション Ⅰ(4)	英語 コミュニケーション Ⅰ(4)	英語 コミュニケーション Ⅰ(4)	I	数学研究 β(2)
74					
75					
76					
77					
78					
79	論理・表現Ⅰ(2)	論理・表現Ⅱ(2)	論理・表現Ⅱ(2)	J	英語研究 (2)
80					
81					
82					
83					
84					
85	英会話(総合)(1)	英会話(総合)(1)	英会話(総合)(1)	K	α/β (2)
86					
87					
88					
89					
90					
91	探究の時間(1)	探究の時間(1)	探究の時間(1)	L	α/β (2)
92					
93					
94					
95					
96					
97	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	M	α/β (2)
98					
99					
100					
101					
102					
103	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	N	α/β (2)
104					
105					
106					
107					
108					
109	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	O	α/β (2)
110					
111					
112					
113					
114					
115	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	P	α/β (2)
116					
117					
118					
119					
120					
121	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	Q	α/β (2)
122					
123					
124					
125					
126					
127	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	R	α/β (2)
128					
129					
130					
131					
132					
133	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	S	α/β (2)
134					
135					
136					
137					
138					
139	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	T	α/β (2)
140					
141					
142					
143					
144					
145	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	U	α/β (2)
146					
147					
148					
149					
150					
151	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	V	α/β (2)
152					
153					
154					
155					
156					
157	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	W	α/β (2)
158					
159					
160					
161					
162					
163	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	X	α/β (2)
164					
165					
166					
167					
168					
169	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	Y	α/β (2)
170					
171					
172					
173					
174					
175	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	Z	α/β (2)
176					
177					
178					
179					
180					
181	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AA	α/β (2)
182					
183					
184					
185					
186					
187	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AB	α/β (2)
188					
189					
190					
191					
192					
193	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AC	α/β (2)
194					
195					
196					
197					
198					
199	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AD	α/β (2)
200					
201					
202					
203					
204					
205	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AE	α/β (2)
206					
207					
208					
209					
210					
211	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AF	α/β (2)
212					
213					
214					
215					
216					
217	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AG	α/β (2)
218					
219					
220					
221					
222					
223	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AH	α/β (2)
224					
225					
226					
227					
228					
229	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AI	α/β (2)
230					
231					
232					
233					
234					
235	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AJ	α/β (2)
236					
237					
238					
239					
240					
241	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AK	α/β (2)
242					
243					
244					
245					
246					
247	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AL	α/β (2)
248					
249					
250					
251					
252					
253	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AM	α/β (2)
254					
255					
256					
257					
258					
259	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AN	α/β (2)
260					
261					
262					
263					
264					
265	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AO	α/β (2)
266					
267					
268					
269					
270					
271	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AP	α/β (2)
272					
273					
274					
275					
276					
277	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AQ	α/β (2)
278					
279					
280					
281					
282					
283	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AR	α/β (2)
284					
285					
286					
287					
288					
289	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AS	α/β (2)
290					
291					
292					
293					
294					
295	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AT	α/β (2)
296					
297					
298					
299					
300					
301	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AU	α/β (2)
302					
303					
304					
305					
306					
307	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AV	α/β (2)
308					
309					
310					
311					
312					
313	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AW	α/β (2)
314					
315					
316					
317					
318					
319	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AX	α/β (2)
320					
321					
322					
323					
324					
325	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AY	α/β (2)
326					
327					
328					
329					
330					
331	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	AZ	α/β (2)
332					
333					
334					
335					
336					
337	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BA	α/β (2)
338					
339					
340					
341					
342					
343	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BB	α/β (2)
344					
345					
346					
347					
348					
349	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BC	α/β (2)
350					
351					
352					
353					
354					
355	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BD	α/β (2)
356					
357					
358					
359					
360					
361	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BE	α/β (2)
362					
363					
364					
365					
366					
367	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BF	α/β (2)
368					
369					
370					
371					
372					
373	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BG	α/β (2)
374					
375					
376					
377					
378					
379	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BH	α/β (2)
380					
381					
382					
383					
384					
385	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BI	α/β (2)
386					
387					
388					
389					
390					
391	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BJ	α/β (2)
392					
393					
394					
395					
396					
397	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BK	α/β (2)
398					
399					
400					
401					
402					
403	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BL	α/β (2)
404					
405					
406					
407					
408					
409	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BM	α/β (2)
410					
411					
412					
413					
414					
415	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BN	α/β (2)
416					
417					
418					
419					
420					
421	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BO	α/β (2)
422					
423					
424					
425					
426					
427	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BP	α/β (2)
428					
429					
430					
431					
432					
433	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BQ	α/β (2)
434					
435					
436					
437					
438					
439	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BR	α/β (2)
440					
441					
442					
443					
444					
445	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BS	α/β (2)
446					
447					
448					
449					
450					
451	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BT	α/β (2)
452					
453					
454					
455					
456					
457	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BU	α/β (2)
458					
459					
460					
461					
462					
463	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BV	α/β (2)
464					
465					
466					
467					
468					
469	LHR(1)	LHR(1)	LHR(1)	BW	α/β (2)
470					
471					
472					
473					

OBOG懇談会

・高校1年生と高校2年生の年度末に、大学生活、受験勉強の経験、現役生へのアドバイスなどに関する講演会を行っています。モデルとなる先輩からの話は、生徒に多大な刺激を与えます。年度末に行うことで、新たな学年に向けた意欲を喚起します。

キャリアラボ(中学1年生・3年生)

・卒業生(主に20歳代・30歳代)による職業やキャリア形成に関する講演会です。中学3年生ではさまざまな職業やキャリアを持つ卒業生による、少人数の講演会として行っています。神大附属で6年間を過ごした社会人からの話は、リアリティをもって生徒の心に響いていきます。

・卒業から10~20年ほど経過した卒業生が、後輩へ温かい眼差しを向けながら協力してくれており、「卒業生は学校の財産」であると感じることのできる行事です。

進路講演会・座談会

・高校では、学年単位で不定期に進路講演会が開催されています。また、特定の大学や、医療系など特定の学部学科に関するさまざまな進路座談会も開催されています。いずれも、現役大学生・大学院生の卒業生が「後輩のために」と話をしてくれたり、相談に乗ってくれたりします。

海外協定大学推薦制度(UPAA)

・世界大学ランキングにおいて上位にあるイギリス、アメリカ、オーストラリアの計36の協定大学に推薦で進学することができる制度です。

・本校で導入している英語のeラーニングシステムで学習を進め、身につけた英語力と高校3年間の成績等により、共通の願書を用いて専願または併願で6大学まで出願することができます。この制度によって、学校での学習の延長線上に海外大学進学を目指すことが可能となります。

・国内の大学受験と併用することもでき、受験勉強を妨げることなく、多様な進路選択が可能となります。過去5年間で計44名が合格を果たしました。



神奈川大学への推薦制度

・神奈川大学への推薦入試は11月と2月に行われます。11月の推薦入試では専願と併願があり、併願で神奈川大学への進学を確保した上で、他大学(国公立、私立を問わず)を受験することもできます。なお、2月の推薦入試は専願となります。11月推薦入試の専願による進学者は、年間授業料30%相当が給付される米田吉盛(神奈川大学創立者)教育奨学金の採用候補者になることができます。

・昨年度は79名の推薦枠があり、8名(うち専願3名)の生徒が推薦で神奈川大学へ進学しました。

学校推薦型選抜(指定校推薦)

・毎年、神奈川大学以外の大学からも指定校推薦の依頼をいただいています。2023年度入試で指定校推薦枠をいただいた主な大学・学部は次の通りです。なお、2023年度入試で指定校推薦で進学した生徒は11名でした。

慶應義塾大学(理工)、早稲田大学(文化構想・創造理工・基幹理工・先進理工)、北里大学(医・薬)、東京理科大学(先進工・理・理工)、明治大学(政治経済)、青山学院大学(理工)、中央大学(法・経済・総合政策・商・理工)、立教大学(現代心理・文)、法政大学(社会・グローバル教養)、学習院大学(経済・文・理)、昭和薬科大学(薬)、東京薬科大学(薬・生命科)、明治薬科大学(薬)、東京農業大学(生物産業)

大学合格・現役生の進路状況

・例年、多くの生徒が国公立大学を志望し、2023年度入試での国公立大学(大学校含む)合格者は61名(現役52名)でした。そのうち、学校推薦型選抜・総合型選抜によって合格したのは7名でした。

・2023年度入試では、国公立大学、早慶上理、GMARCHといった大学群への進学者は120名で、卒業生の60.9%をしめています。

大学入試の合格状況

	2023年度		2022年度卒		2021年度卒	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
国公立大学	60	51	77	65	61	47
大学校	1	1	1		3	3
私立大学	785	741	928	801	721	584
海外の大学	8	8	4	4	8	8
合計	854	801	1010	870	793	642

国・公・私立大学 医学部医学科	2023年度入試		2022年度入試		2021年度入試	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
筑波大学	1	1				
山形大学			1		1	1
群馬大学			1	1		
横浜市立大学	1	1				
愛知医科大学					1	1
北里大学	1	1	2	2	1	1
杏林大学	1					
国際医療福祉大学	1	1			1	1
産業医科大学			1	1		
昭和大学	1	1			1	1
聖マリアンナ医科大学	2	1			1	1
帝京大学	1	1				
東海大学	5	2			2	2
東北医科薬科大学			1			
東京医科大学	2	2				
東京慈恵会医科大学	1	1				
東邦大学	2	2			1	1
日本大学					1	
防衛医科大学校	1	1				
合計	20	15	6	4	10	9

国公立大学	2023年度入試		2022年度入試		2021年度入試	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
東京大学	3	2	3	3	2	1
京都大学	2	1			1	1
一橋大学	3	3	2	2	2	2
東京工業大学	3	2	6	6	5	3
北海道大学	6	5	6	5	2	1
東北大学			3	2	2	1
大阪大学					1	1
名古屋大学			1	1		
九州大学			1	1	2	
秋田大学			1	1		
山形大学			1		1	1
福島大学	1	1				
筑波大学	1	1	1	1	2	2
茨城大学			3	2		
群馬大学			2	1	1	1
埼玉大学	1	1	1			
千葉大学	2	2	4	4	1	1
お茶の水女子大学	1	1	1	1		
電気通信大学	2	2	3	2	2	
東京海洋大学	1	1				
東京外国語大学	2	2			3	3
東京学芸大学			2	1		
東京農工大学	3	2	5	4	4	4
横浜国立大学	9	9	9	9	9	8
金沢大学	1	1	1		1	
富山大学	1	1				
信州大学					4	3
山梨大学	1	1	1			
静岡大学			2	2		
広島大学	1	1				
鳥取大学			1			
山口大学	1	1				
鹿児島大学			1	1		
琉球大学			1	1	1	1
横浜市立大学	4	3	4	4	4	3
川崎市立看護大学	1	1				
東京都立大学	6	4	11	11	10	9
高崎経済大学	2	2				
長野大学	1	1				
長野県立大学					1	1
愛知県立大学	1					
合計	60	51	77	65	61	47

海外大学	2023年度入試		2022年度入試		2021年度入試	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
The University Of Manchester	2	2			2	2
The University of Glasgow	2	2				
University of Bristol	2	2				
University of Birmingham	1	1				
The University of Sydney	1	1				
その他の海外大学			4	4	6	6
合計	8	8	4	4	8	8

私立大学	2023年度入試		2022年度入試		2021年度入試	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
神奈川大学	59	59	37	32	29	28
	内推薦20		内推薦9		内推薦22	
早稲田大学	46	42	43	40	43	34
慶應義塾大学	32	28	29	29	13	9
上智大学	26	26	16	16	24	20
東京理科大学	46	43	35	32	27	17
明治大学	85	79	124	114	82	73
青山学院大学	36	32	48	46	25	18
立教大学	52	49	46	43	29	26
中央大学	33	32	36	28	56	46
法政大学	58	55	72	64	41	32
学習院大学	4	4	3	3	7	3
国際基督教大学			1	1	2	2
同志社大学	1	1	2		1	1
立命館大学	4	4	5	5	1	1
日本大学	24	23	37	27	29	24
東洋大学	12	12	16	14	11	9
駒澤大学	2	2	11	11	2	2
専修大学	13	13	8	7	13	13
北里大学	8	5	13	11	8	6
近畿大学			3	2		
國學院大学	6	6	7	7	4	4
芝浦工業大学	19	17	32	21	24	20
昭和大学	5	4	5	5	4	2
成蹊大学	15	15	17	17	7	5
成城大学	18	18	18	18	8	5
津田塾大学	2	2				
東邦大学	2	2	1	1	3	1
東京都立大学	19	18	37	25	48	44
東京農業大学	14	14	36	35	13	9
武蔵大学			6	6	1	
明治学院大学	26	26	37	36	11	9
立命館アジア太平洋大学	5	5				
東京女子大学	12	12	1	1	5	5
日本女子大学	7	7	3	3	6	3
昭和薬科大学	4	4	6	6	7	6
東京薬科大学	4	4	4	3	8	7
星薬科大学	4	4	3	3	4	3
明治薬科大学	2	2			3	3
日本獣医生命科学大学	4	4	4	1		
多摩美術大学	2	2	5	5	4	
武蔵野美術大学	6	6	2	2	5	1
その他の私立大学	72	63	119	81	113	93

大学校	2023年度入試		2022年度入試		2021年度入試	
	合格	現役	合格	現役	合格	現役
水産大学校			1			
防衛医科大学校	1	1				
その他の大学校					3	3

現役生の進路状況

卒業生数	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
	197名	219名	204名

国・公・私立大学 医学部医学科	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
筑波大学	1		
山形大学			1
群馬大学		1	
横浜市立大学	1		
北里大学	1	2	
産業医科大学		1	
昭和大学			1
聖マリアンナ医科大学	1		
東京慈恵会医科大学	1		
東邦大学	1		
小計	6	4	2

国公立大学	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
東京大学	2	3	1
京都大学	1		1
一橋大学	3	2	2
東京工業大学	2	6	3
北海道大学	5	4	1
東北大学		2	1
名古屋大学		1	
九州大学		1	
秋田大学		1	
山形大学			1
福島大学	1		
筑波大学	1	1	1
茨城大学		2	
群馬大学		1	1
埼玉大学			
千葉大学	2	4	1
お茶の水女子大学	1	1	
電気通信大学	2	1	
東京海洋大学	1		
東京外国語大学	1		2
東京学芸大学		1	
東京農工大学	2	4	3
横浜国立大学	6	7	6
金沢大学	1		
富山大学	1		
信州大学			2
山梨大学	1		
静岡大学		1	
広島大学	1		
鹿児島大学		1	
琉球大学		1	1
横浜市立大学	2	2	3
東京都立大学	3	5	8
高崎経済大学	1		
国公立大学合計	40	52	38
進学率(%)	20.3	23.7	18.6

大学校	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
防衛大学校			1
神奈川県立平塚看護大学校			1
大学校合計			2

海外の大学	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
The University of Manchester	2		
University of Exeter			1
University of East Anglia			1
University of South Florida		1	
海外の大学合計	2	1	2

	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
神奈川大学	8	7	14
進学率(%)	4.1	3.2	6.9
早稲田大学	18	19	14
慶應義塾大学	11	14	5
上智大学	4	4	5
東京理科大学	10	3	2
小計	43	39	26
進学率(%)	21.8	17.8	12.7

	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
国際基督教大学			2
明治大学	9	24	11
青山学院大学	8	10	5
立教大学	6	1	5
中央大学	7	7	8
法政大学	6	8	6
学習院大学		1	1
立命館大学	1		
小計	37	51	38
進学率(%)	18.8	23.3	18.6

日本大学	3	3	4
東洋大学		1	4
駒澤大学		2	
専修大学	1		1
麻布大学			1
大妻女子大学			1
神奈川工科大学			1
北里大学	2	5	3
京都芸術大学		1	
共立女子大学			1
工学院大学	1	1	
國學院大学	2	1	2
産業能率大学			
芝浦工業大学	2	3	3
順天堂大学			2
湘南医療大学	1	1	
尚美学園大学		1	
昭和女子大学		1	1
昭和薬科大学		1	
城西国際大学			1
成蹊大学	3	3	1
成城大学	3		1
聖心女子大学			1
聖マリアンナ医科大学	1		
多摩美術大学	1	2	
東京工科大学		1	1
東京工芸大学		1	
東京慈恵会医科大学	1		
東京造形大学		1	1
東京電機大学			2
東京都市大学	5	4	
東京農業大学	2	2	2
東京薬科大学	1		1
桐朋学園大学			1
東邦大学	1	1	
日本獣医生命科学大学	1		
日本女子大学		1	
日本赤十字看護大学	1		
日本体育大学			1
星薬科大学	1	2	3
武蔵野大学		1	
武蔵野美術大学	1		
明治学院大学	3	1	2
明治薬科大学			2
目白大学			1
立正大学	1	1	
立命館アジア太平洋大学	2		1
龍谷大学	1		
小計	41	33	39
進学率(%)	20.8	15.1	19.1
私立大学等合計	129	143	126
私立大学進学率(%)	65.5	65.3	61.8

現役進学者数	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
	171	196	169
現役進学率(%)	86.8	89.5	82.8

現役進学者数	2023年度	2022年度	2021年度
	33期生	32期生	31期生
	171	196	169
現役進学率(%)	86.8	89.5	82.8

神大附属の学校生活

● 神大附属生の一(中学生)

SHR	8:20~ 8:30	授業準備	13:00~13:10	高校生の完全下校時間は18:00
1限	8:30~ 9:20	5限	13:10~14:00	
2限	9:30~10:20	6限	14:10~15:00	
3限	10:30~11:20	7限(月・火曜日のみ)	15:10~16:00	*給食はありませんので、生徒は弁当を持参するか食堂を利用します。食堂ではテイクアウトの弁当やパン類などの販売もしています。食堂は中学生も利用できます。
4限	11:30~12:20	SHR	15:00~15:10	
昼休み	12:20~13:00	SHR(月・火曜日のみ)	16:00~16:10	*放課後自習室の利用時間→P.8
		*清掃・生徒会委員会・部活動等	17:30 完全下校	

● 在籍者・学級数(中学生)

在籍 730名 クラス数 19	1年 248名 6クラス	2年 225名 6クラス	3年 257名 7クラス
男子 362名 (50%)	117名 (47%)	103名 (46%)	142名 (55%)
女子 368名 (50%)	131名 (53%)	122名 (54%)	115名 (45%)

クラス替えについて

・クラス替えは毎年行います。中学2年生～高校1年生まではクラスごとの学力差がつかないよう、また男女のバランスが保たれるよう、その他の要素も加味しながらクラス編成をします。

(4月1日現在)

● 神大附属の生徒指導

生徒指導の基本的な考え

・挨拶をする、状況に応じた言葉づかいや振る舞いをする、報告・連絡・相談をする、自らの役割を果たす、といった社会において人として求められる姿勢や行動については、しっかりと指導します。決まりやルールがある理由を理解し、失敗したらなぜ失敗したのか、次にどうすべきなのかを生徒自身が考えられるようにすることが大切だと考えています。「自ら考え、判断し、行動できる人へ」、これが本校の生徒指導の根幹にあります。

・生徒一人ひとりを尊重し、発達段階や個々の生徒の状況などを鑑みながら、どうすれば生徒が成長できるか、その機会を得られるのかということを中心とした生徒指導を行っています。保護者には学校の指導方針を理解していただくよう努めたいと、学校と保護者が協力して、生徒の成長を支えていきたいと考えています。

・本校の「面倒見の良さ」とは、何でも用意して、何でもしてあげてを意味しません。教員は生徒の成長を促し、励まし、見守り、支援していきます。「面倒見の良さ」とは、一人ひとりへの理解と関係に支えられた成長支援だといえます。

● 個別の生徒支援体制

・思春期の生徒が自分自身のことや人間関係、学校生活のことで悩みを抱くのは当然のことです。学級担任に限らず、教員は生徒が相談に行きやすい関係づくりに努めています。場合によってはスクールカウンセラーにつなぐなどして、生徒にとって必要な支援をしていきます。

・通常の保健室では対応できないメンタル的な問題に対応するために、本校では「教育相談室(やすらぎルーム)」を設け、専門の心理カウンセラーを週6回(終日)配置しています。「やすらぎルーム」の名の通り、誰もが気軽に立ち寄り、どんなことでも相談できるアットホームな雰囲気での相談室です。

● 学校行事

学校行事で目指すもの

・人生の中で最も多感な中高時代、学校行事を仲間とともに創りあげた経験が、味わい深い青春の思い出として、人生における心の支えになります。仲間とともに取り組むプロセスの中で、生徒の主体性や協働性が引き出されます。学校行事で得た充実感や達成感が、進路・進学に向けたエネルギーにもなります。

くすのき祭

・9月に行われる学校祭(文化祭)です。例年、2日間で約9000人の来場者がある本校最大の行事です。

・学芸部の発表とともに、中学1年生～高校1年生はクラス企画としてクラス単位で参加します。高校2年生は学年企画として、ミュージカルや模擬店など学年の生徒が工夫を凝らした企画を行います。

・実行委員会の生徒を中心に、生徒が企画・準備・運営を行う、まさに生徒による自主的・主体的な行事です。後夜祭での実行委員会の熱量や、生徒がお互いを讃え合う一体感は感動的です。

体育大会

・球技部門(ドッジボール、バスケットボール、バレーボール、サッカー、キックベース、ソフトボール)と陸上部門(中学クラス対抗リレー、高校学年対抗リレー、中学長縄跳び、高校騎馬戦、高校飛びつき綱引き)が行われます。

・くすのき祭と同様、実行委員会の生徒を中心に、生徒が企画・準備・運営を行います。各クラスの個性的なクラスTシャツも体育大会の楽しみの一つです。

合唱コンクール

・中学生のみの行事です。そのため、中学3年生の合唱コンクールに懸ける思いは並々ならぬものがあります。

・各クラス、さまざまな意見のぶつかり合いなどがありながらも当日を迎えます。そのような過程があるからこそ、優勝したクラスのみならず、「クラスで一つの合唱をつくることができた」という充実感と達成感に包まれる行事です。

学校行事一覧

1学期					
月	学校行事	対象学年	月	学校行事	対象学年
4月	1学期・始業式	中学1年を除く全学年	6月	校外学習	中学1年生
	入学式	中学全学年		タブレットPC配付	中学1年生
	新入生オリエンテーション	中学1年生		いのちの講演会	中学3年生
	実力テスト	中学2・3年生		歌舞伎鑑賞教室	中学3年生
	尿検査	全学年		英単語コンテスト②	全学年
5月	保護者会	中学2・3年生 高校2・3年生		学部・学科説明会	高校1年生
	1学期・中間考査	全学年		能楽鑑賞教室	高校1年生
	計算コンテスト①	中学全学年		1日神大生	高校1年生
	英単語コンテスト①	全学年		高校選択科目説明会	高校1・2年生
	生徒総会①	全学年		ミュージカル鑑賞教室	高校2年生
	健康診断	全学年	保護者対象進路説明会	高校生保護者	
	防災訓練①	全学年	漢字検定①	希望者	
	海外・国内研修説明会	希望者(中学3～高校2)	UPAA説明会	希望者	
	第1回全統模試	高校1年生	保護者会	高校2・3年生	
	第1回全統模試	高校2年生	7月	1学期・期末考査	全学年
	スタディサプリ適性診断	高校1・2年生		1学期 終業式	全学年
	第1回共通テスト模試①	高校3年生		生徒・保護者面談	全学年
	第1回全統記述模試	高校3年生		夏期特別講習	中学3年生・高校1年生
自転車安全教室	利用者対象	夏期休業中講習・補習		全学年(希望者)	
保護者会	中学1年生・高校1年生	保護者会	高校1年生		
部活動保護者会	部活動毎	8月	BreakThrough English Camp	中学3年生	
			夏期休業中講習・補習	全学年	
			ベトナム(問題解決型)研修	希望者 中学3年生～高校2年生	
			イギリス(文化体験型)研修	希望者 中学3年生～高校2年生	

2学期					
月	学校行事	対象学年	月	学校行事	対象学年
9月	2学期・始業式	全学年	11月	地域調査	中学1・2年生
	実力テスト	中学1年生～3年生		英単語コンテスト④	中学1年生～高校2年生
	くすのき祭(学校祭)	中学1年生～高校2年生		授業参観	中学2年生
	英単語コンテスト③	中学1年生～高校2年生		神大見学会	中学3年生
	計算コンテスト②	中学全学年		進研11月模試	高校1年生
	実用英語技能検定	全学年		ベネッセ駿台共通テスト模試	高校3年生
	第2回全統模試	高校1年生・高校2年生		漢字検定②	希望者
	ベネッセ駿台共通テスト模試	高校3年生		全統ブレ共通テスト	高校3年生(希望者)
10月	UPAA認定試験	希望者(高校3年生)	12月	保護者会	中学1・2・3年生
	体育大会	全学年		2学期 期末考査	全学年
	2学期中間考査	全学年		2学期 終業式	全学年
	防災訓練②	全学年		共通テスト対策講座	高校3年生
	全統模試	高校1・2年生(希望者)		冬期講習・補習	希望者
	駿台全国模試	中学3年生(希望者)		保護者会	高校3年生
	ベネッセ駿台記述模試	高校3年生		帰国生入学試験	
	第3回全統記述模試	高校3年生(希望者)			
河合塾共通テスト模試	高校3年生(希望者)				
保護者会	高校1・2年生				

3学期					
月	学校行事	対象学年	月	学校行事	対象学年
1月	3学期始業式	全学年	3月	BreakThrough English Camp	中学2年生
	BreakThrough English Camp	中学1年生		高校卒業式	高校全学年
	校外学習	中学2・3年生		3学期 期末考査	高校3年生を除く全学年
	Z会模試	中学3年生		3学期 終業式	高校3年生を除く全学年
	漢字検定③	希望者		春期講習・補習	高校3年生を除く全学年
	共通テストプレテスト	高校3年生		保護者会	中学1年生
	入試直前特別講座	高校3年生			
	共通テスト自己採点	高校3年生			
2月	キャリアラボ	中学1・3年生			
	計算コンテスト③	中学全学年			
	合唱コンクール	中学全学年			
	生徒総会②	全学年			
	生徒会選挙	全学年			
	第4回全統模試	高校1年生			
	全統共通テスト模試	高校2年生			
	全統記述模試	高校2年生			
保護者会	中学2・3年生				
	中学入学試験				

部活動

部活動で目指すもの

- ・大会やコンクール等の結果や成績を追求だけでなく、生涯にわたってスポーツや文化的な活動に親しむ基礎を培うことや、生徒の心身の調和のとれた発達を促すことができるような環境を整えて活動しています。
- ・「学習」「部活動」「特別活動(学級活動・生徒会活動・学校行事)」は、それぞれ独立しているものでなく、支えあっているものであり、三位一体として考え、「自ら考え、判断し、行動できる人」を目指して、確かな学力、創造性、そして豊かな人間性をもつ生徒の育成を目標としています。
- ・活動日は週4日までとしています。部活動によっては、大会やコンクール等に向けて休日に活動することもあります。校内のガイドラインを設けて、生徒にとって過度な負担とならないよう配慮しています。
- ・顧問教員に加えて、部活動指導員やコーチも指導にあたっています。

部活動名	中学			高校			合計	合宿	主な活動場所	
	男子	女子	合計	男子	女子	合計				
運動部	陸上競技部	19	20	39	30	16	46	85	陸上グラウンド	
	野球部	35	1	36	26	3	29	65	○	野球場
	卓球部	42	23	65	18	10	28	93	○ (高校のみ)	第2体育館
	硬式庭球部	46	24	70	26	24	50	120		テニスコート・屋外集会場
	バレーボール部	25	38	63	14	15	29	92	○	第1体育館
	バスケットボール部	38	29	67	20	23	43	110	○	第1体育館・屋外集会場
	剣道部	11	13	24	7	4	11	35	○	剣道場
	水球部	13	11	24	8	10	18	42	○	50mプール
	サッカー部	34	0	34	18	0	18	52	○	陸上グラウンド・サッカー・ラグビー場
	なぎなた部	6	34	40	10	20	30	70		第3体育館
学芸部	歴史研究部	4	6	10	3	3	6	16	○	国社研修室・コンピュータ教室
	音楽部	13	77	90	12	54	66	156	○	リハーサル室1・2・第3体育館
	美術部	4	12	16	5	9	14	30		美術室2
	漫画研究部	1	5	6	0	7	7	13		美術室1
	理科部	17	17	34	22	9	31	65	○	理科実験室
	囲碁・将棋部	11	1	12	6	0	6	18	○	和室
	演劇部	3	10	13	1	17	18	31	○	AVスタジオ
	技術家庭科部	31	10	41	20	2	22	63		技術教室・被服室・Macルーム
入部生徒数	353	331	684	246	226	472	1156			
在籍生徒数	364	350	714	335	286	621	1335			
入部率	97%	95%	96%	73%	79%	76%	87%			

数字は生徒数 2023年3月現在

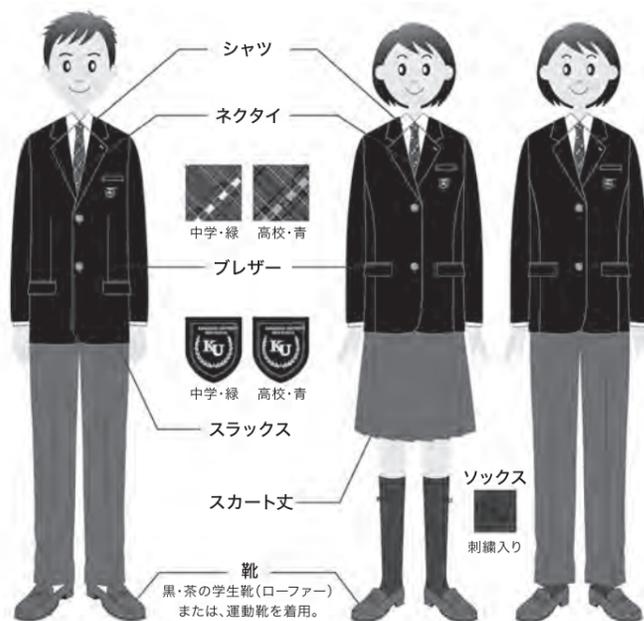
中学生は17時30分、高校生は18時が完全下校になります。
活動は原則として週4日以内とし、月曜～土曜のうち2日の活動しない日を設けています。
長期休業中の補習・講習期間の活動は、午前中に補習・講習を行い、部活動は午後に行います。

制服

よりシックに、よりアカデミックに

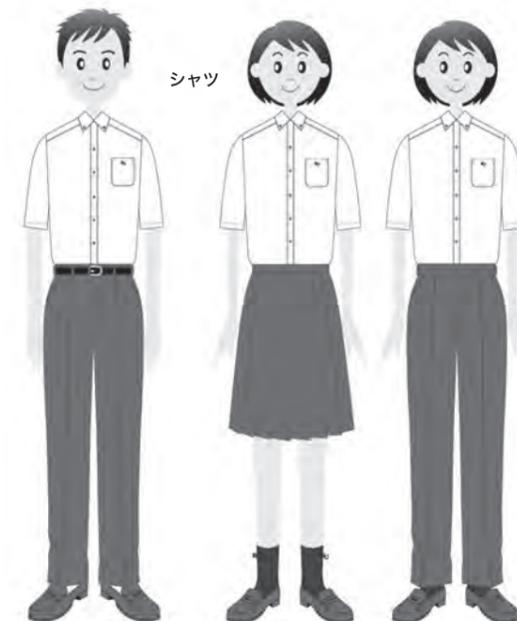
- ・黒のブレザーにグレーのストラックスとスカート(チェック柄もあり)は、深みのある色合いにしています。ネクタイは神大附属ならではの個性的なデザインを追求しました。「積極進取」の姿勢を象徴している「赤」をベースに、中学は「緑」、高校は「青」をアクセントに配色しています。
- ・夏服は「クールビズ」を取り入れ、シャツはボタンダウン(白と青の2タイプ)です。他に指定のベストとセーター(白とグレー)があり、自分なりの着こなしで個性を演出できるようにしています。

冬 正装



*女子はスカートとストラックスの選択制です。

夏 正装



*ソックスはショート・ロング選択制です。*女子はスカートとストラックスの選択制です。

Option

体調や季節に合わせて選択できます。

指定セーター(グレー・白) 男女兼用・通年 指定ベスト(グレー・白) 男女兼用・通年 チェックスカート(冬・夏) 開襟シャツ(サックス)



着用期間について ※学校行事に参加する場合は正制服です。

基本着用制服	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上着 シャツ ネクタイ ストラックス スカート	冬制服 夏制服 どちらでも		夏制服			冬制服 夏制服 どちらでも		冬制服				

● 生徒の安全

生徒の安全のために

- ・危機管理マニュアルの策定
生徒の日々の活動に対する安全を管理し、また、校内・校外での緊急事態発生時には教職員が組織的な対応ができるよう行動手順をまとめた「危機管理マニュアル」を作成しています。
- ・教員・生徒の取り組み(救命救急講習、AEDなど)
毎年、教員を対象に救急蘇生法やAED(8台設置)の使用方法を含めた救命講習会を実施しています。また、アレルギーのある生徒のアナフィラキシーショックに備えて、エビペン®練習用トレーナーを用いた教員向けの講習も実施しています。
- ・保健室
保健室には養護教諭とともに看護師を配置し、専門的な医療知識および処置を支援しています。
- ・警備体制
警備員が24時間常駐しています。女性警備員も配置し、校舎内外の警備に当たっています。来校者は、「来校者」「見学者」「取引業者」等のプレートをつけています(在校生の保護者は、緑会(PTA)が会員証を発行し、それを来校時に付けます)。
- ・プライバシーポリシー
*学校法人神奈川大学のプライバシーポリシーに則り、生徒一人ひとりの個人情報を取り扱っています。
*生徒住所録は配付しません。
*大学合格の校内掲示及び広報誌掲載は、本人および保護者の確認をとった上で掲載します。
- ・校舎・設備
校舎は耐震構造になっており、全教室とも冷暖房完備、窓ガラスには飛散防止フィルムが貼ってあります。

緊急時への対応(地震など)

- ・大地震発生時の対応
政府は「南関東でM7クラスの地震が発生する確率は30年以内に70%」としています。本校では年2回の防災訓練だけではなく、広大な敷地を利用して横浜市消防局による防災ヘリ離発着訓練も実施しています。
- ・緊急情報の配信システム
「ウェブでお知らせ」というメール配信システムを導入しており、緊急事態の発生の際には生徒ならびに保護者へメール配信をします。また、神奈川県で震度5以上を記録する地震が発生した場合、自動で安否確認が起動する「レスキューナウ」も採用し、生徒の携帯電話・スマートフォンに配信します。
- ・備蓄・緊急用機材
以下のものを備蓄倉庫と緊急用機材倉庫(計4棟設置)に常備しています。
食料:ビスケット・クラッカー、アルファ米、パン(生徒一人1日3食3日分)
飲料:保存水(生徒一人3L) その他50mプールの浄水装置もあります。
寝具:防寒シート(全校生徒分)
その他:炊き出し用品、発電機、水中ポンプ、浄水装置、簡易トイレ、ランタン等

● 保護者に関すること

学校・保護者間の連絡

- ・欠席・遅刻については、「ウェブでお知らせ」で保護者から学校に連絡していただきます。
- ・学校からの緊急連絡(悪天候による下校措置など)についても、「ウェブでお知らせ」によるメール配信で保護者にご連絡します。
- ・個別のご相談などについては、電話またはメールで承ります。また、必要に応じて学校からご自宅または緊急連絡先に電話連絡をすることがあります。

保護者の転勤等による転出後の転編入学について

- ・本校に在籍していた生徒には優遇措置があります。原則として中学3年終了時までであれば、転編入学できます。

資料

● 6年間総費用

学費について

以下の費用は2023年度入学者の適用となります。
※学年費の納入金額は変更になる場合があります。

中学校

(単位:円)

	中学1年生	中学2年生	中学3年生
入学金	250,000	—	—
授業料	610,000	610,000	610,000
施設設備資金	180,000	180,000	180,000
学年費	131,000	158,000	158,000
生徒会費	5,000	4,000	4,000
緑会費(PTA)	11,000	11,000	11,000
年間総額	1,187,000	963,000	963,000

※中学1年生の5月にタブレットPCを購入していただきます。価格は16~17万程度になる予定です。

高等学校

(単位:円)

	高校1年生	高校2年生	高校3年生
入学金	250,000	—	—
授業料	610,000	610,000	610,000
施設設備資金	180,000	180,000	180,000
学年費	116,000	44,000	38,000
生徒会費	4,000	4,000	4,000
緑会費(PTA)	11,000	11,000	11,000
年間総額	1,171,000	849,000	843,000

※授業料・施設設備資金は一括納付のほか、二期分納・月分納もできます。
※4月に「学年費・生徒会費」が、5月に「緑会(PTA)費」が、それぞれ授業料・施設設備資金と合わせて引き落としされます。
※在校生の弟妹の緑会(PTA)費は年間5,000円になります。

制服・体育用品等

(2023年生協販売会価格(消費税10%込))

	男子	女子		男子	女子
ブレザー	27,398	23,987	ローソックス	—	770
冬スラックス	11,500	10,780	上履き	2,000	2,000
冬無地スカート	—	15,000	体育館履き	4,400	4,400
夏スラックス	11,000	10,200	指定靴袋	650	650
夏無地スカート	—	12,500	トレーニングシャツ	6,600	6,600
長袖白シャツ(標準品)	3,200	3,100	トレーニングパンツ	5,170	5,170
半袖白ボタンダウンシャツ	4,400	4,400	ハーフパンツ	3,850	3,850
ネクタイ	2,290	2,290	Tシャツ	1,980	1,980
ハイソックス	—	916	水着セット(水着・帽子)	2,420	4,840

※女子スラックスは希望者のみ購入してください。

● 帰国生入試について

帰国生に期待すること

- ・小学校時代に過ごした国や地域、過ごした期間、現地で通っていた学校など、帰国生一人ひとりとはさまざまな背景を持っています。その多様な経験やそこから来るマインドを、2月の入試で入ってきた生徒(以下、一般生)に伝え、刺激を与えてほしいと願っています。
- ・帰国生のみなさんは英語が得意な人が多いと思います。入学後は一般生と同じ英語の授業を受けるので、ぜひお手本になってほしいと思います。
- ・帰国生のみなさんもその他の生徒たちと交流する中で、それまでにはなかった「ものの考え方・見方」に気がつくことがあると思います。帰国生と一般生がお互いの背景や経験を交流させることで、他者を受け入れ、尊重し、新たなものを自分の中に取り入れていく姿勢を磨いてほしいと願っています。

帰国生の学校生活

- ・クラス編成・授業体制は一般生と区別はしません。まずは、6年間を過ごす本校の雰囲気や生活に慣れ、部活動等を通して仲間づくりをしてほしいと願っています。
- ・英語についても通常の授業では一般生と区別はしていませんが、中学1～2年生では週1回放課後にネイティブ教員による帰国生向けディスカッションクラスがあります。中学3年・高校1年生では、少人数習熟度別授業の上位クラスに所属することが想定されます。
- ・帰国生向けの補習(理科や社会など)は行っていませんが、学級担任と授業担当者が連携して、必要に応じて個別にサポートします。

この表は2023年度「生徒募集要項」です。2024年度「生徒募集要項」は9月に公表予定です。出願の際には必ずご確認ください。

帰国生入試	
入学試験日	2022年12月22日(木) 集合8:20 (開門7:30、開場8:00)
募集人員	男女若干名
出願期間	2022年12月1日(木)10:00～2022年12月18日(日)23:59
帰国生入試出願資格	・2023年3月に小学校を卒業見込みで、2023年4月1日時点で通学圏内に居住している児童。 ・海外で日本の小学校に相当する学校教育を受け、滞在期間が帰国時まで継続して1年以上の者。
出願方法	<p style="text-align: center;">インターネット出願</p> <p>①出願に必要な情報を入力し、入学検定料を納入してください。 詳しくは2023年度生徒募集要項のP.4「7.インターネット出願について」をご参照ください。</p> <p>②①の出願手続完了後、「受験票・志願票」を各自印刷してください。</p> <p>③入学試験当日は、「受験票」と「志願票」を切り離して、両方とも持参してください。</p> <p>④以下の書類については、簡易書留(レターパックプラス可)にて郵送してください。 提出書類:①帰国生報告書(本校所定用紙。本校ホームページよりダウンロードし、記入してください。) ②海外最終滞年在1年分の成績表(コピー可) ③①帰国生報告書の「資格技能」欄に記入した資格等について、証明するもの(コピー可)</p> <p>提出期間:2022年12月1日(木)～20日(火)【必着】簡易書留(レターパックプラス可) 送付先:〒226-0014 神奈川県横浜市緑区台村町800 神奈川大学附属中学校 事務室 入試担当宛</p>
入学検定料	25,000円 ※一旦納入された入学検定料は返金いたしません。
合格発表	2022年12月22日(木)22:00 本校ホームページにておこないます。 (https://www.fhs.kanagawa-u.ac.jp/) ※状況により発表時刻は、予定より前後することがあります。 ※合格証は合格発表のページから各自印刷してください。「通知書」のボタンから印刷ができます。本校にご来校頂いての合格証の交付、合格者の掲示は行いません。
入学金納入期限	<p style="text-align: center;">2023年1月6日(金)18:00まで</p> <p>合格発表のページから入学金決済サイトにアクセスし、入学金を納入してください。 本校窓口での支払いは出来ません。期間内に手続きをされない場合は、入学資格を取り消します。また、一旦納入された入学金は返金いたしません。</p> <p style="text-align: center;">入学金:250,000円</p>
入学手続き書類の発送日	2023年1月13日(金)発送 入学金納入者に、「入学手続き書類」を郵送いたします。内容を確認し、必要事項をご記入の上、2023年2月11日(土・祝)の入学者登校日に持参してください。

● 2023年度中学入試結果

	帰国生入試			第1回入試			第2回入試			第3回入試			全体		
	2022年12月22日			2023年2月1日			2023年2月2日			2023年2月4日					
	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子
募集人数	10			60			120			20			210		
応募者数	41	24	17	653	324	329	749	371	378	565	271	294	2008	990	1018
受験者数	41	24	17	609	302	307	580	288	292	345	167	178	1575	781	794
合格者数	25	13	12	283	136	147	227	115	112	30	11	19	565	275	290
実質倍率	1.6			2.2			2.6			11.5			2.8		

		帰国生入試			第1回入試			第2回入試			第3回入試			
		合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	
総合	受験者	最高点	173	163	173	178	178	174	283	283	283	287	266	287
		平均点	113.1	108.9	119.1	129.6	129.0	130.3	209.0	209.0	209.0	207.3	203.0	211.4
	合格者	最高点	173	163	173	178	178	174	283	283	283	287	266	287
		最低点	105			133			217			242		
		平均点	131.8	132.2	131.5	145.5	145.5	145.5	237.2	237.7	236.7	254.6	252.8	255.7
国語	受験者	最高点				89	88	89	88	86	88	93	86	93
		平均点				64.2	62.3	66.1	64.2	62.4	65.9	67.6	64.4	70.7
	合格者	最高点				89	88	89	88	86	88	93	84	93
		最低点				48			42			60		
		平均点				69.7	67.8	71.6	70.4	68.8	72.0	77.9	71.5	81.6
算数	受験者	最高点	95	95	90	100	100	100	100	100	90	98	98	90
		平均点	54.6	55.0	54.2	65.4	66.6	64.2	55.4	55.4	55.5	56.8	55.2	58.3
	合格者	最高点	95	95	90	100	100	100	100	100	90	98	98	90
		最低点	35			50			34			63		
		平均点	63.8	65.5	62.0	75.8	77.8	73.9	66.5	66.8	66.2	77.7	78.4	77.3
理科	受験者	最高点							71	71	64	58	55	58
		平均点							44.1	45.2	43.0	35.2	35.2	35.2
	合格者	最高点							71	71	64	58	53	58
		最低点							30			34		
		平均点							49.7	50.7	48.8	45.2	47.5	43.9
社会	受験者	最高点							67	67	62	69	64	69
		平均点							45.3	46.1	44.5	47.7	48.2	47.2
	合格者	最高点							67	67	62	69	63	69
		最低点							26			41		
		平均点							50.5	51.4	49.7	53.8	55.5	52.8
英語	受験者	最高点	85	85	83									
		平均点	58.5	54.0	64.9									
	合格者	最高点	85	85	83									
		最低点	35											
		平均点	68.0	66.6	69.5									
配点 / 合計点		算数・英語 各100点 合計200点			国語・算数 各100点 合計200点			国語・算数 各100点 理科・社会 各75点 合計350点			国語・算数 各100点 理科・社会 各75点 合計350点			

※入学者 帰国13名 1回92名 2回124名 3回18名 合計247名(男子116名、女子131名)内、追加合格者0名

6年間の入試結果推移

帰国生入試(若干名)

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2023	41 男24 女17	4.1	41 男24 女17	25 男13 女12	1.6	105〔53%〕	131.8 男132.2 女131.5
2022	33 男21 女12		32 男20 女12	16 男9 女7	2.0	141〔71%〕	157.7 男159.2 女155.7
2021	29 男18 女11		28 男17 女11	16 男11 女5	1.8	110〔55%〕	110.6 男114.2 女105.2

第1回入試(定員60名)

()は帰国生徒数

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2023	653 男324 女329	10.9	609 男302 女307	283 男136 女147	2.2	133〔67%〕	145.5 男145.5 女145.5
2022	770 男389 女381	12.8	720 男357 女363	260 男101 女159	2.8	128〔66%〕	120.3 男117.0 女123.6
2021	554 男283 女271	13.8	492 男249 女243	223 男105 女118	2.2	133〔67%〕	126.6 男123.9 女129.4
2020	737(12) 男360(6) 女377(6)	5.3	638(12) 男313(6) 女325(6)	316(6) 男166(2) 女150(4)	2.0	243〔61%〕	237.7 男241.3 女234.3
2019	805(6) 男424(5) 女381(1)	5.8	700(6) 男370(5) 女330(1)	324(3) 男173(2) 女151(1)	2.2	250〔63%〕	240.8 男241.3 女240.3
2018	778(13) 男440(6) 女338(7)	5.6	686(12) 男382(6) 女304(6)	326(5) 男186(1) 女140(4)	2.1	260〔65%〕	252.3 男251.7 女253.1

※2020年～2018年まではA日程(定員140名:含帰国生徒10名)、400点満点(国語・算数・理科・社会 各100点)、
2021年以降は200点満点(国語・算数 各100点)

第2回入試(定員120名)

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2023	749 男371 女378	6.2	580 男288 女292	227 男115 女112	2.6	217〔62%〕	237.2 男237.7 女236.7
2022	817 男430 女387	6.8	680 男370 女310	224 男122 女102	3.0	206〔59%〕	191.3 男191.5 女191.1
2021	705 男363 女342	5.9	559 男298 女261	263 男151 女112	2.1	217〔62%〕	209.5 男210.0 女208.9
2020	533 男275 女258	11.8	266 男126 女140	85 男44 女41	3.1	245〔61%〕	228.0 男228.8 女227.3
2019	653 男325 女328	14.5	360 男189 女171	81 男35 女46	4.4	245〔61%〕	220.8 男217.3 女224.6
2018	606 男317 女289	13.5	370 男187 女183	79 男29 女50	4.7	262〔66%〕	235.0 男228.9 女241.2

※2020年～2018年まではB日程(定員45名)、400点満点(国語・算数・理科・社会 各100点)、
2021年以降は350点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各75点)

第3回入試(定員20名)

年度	応募者数	応募倍率	受験者数	合格者数	実質倍率	入試ボーダーライン	受験者平均点
2023	565 男271 女294	28.3	345 男167 女178	30 男11 女19	11.5	242〔69%〕	233.1 男230.2 女234.4
2022	580 男295 女285	29.0	338 男179 女159	47 男18 女29	7.2	214〔61%〕	183.0 男177.0 女189.7
2021	490 男232 女258	12.3	251 男117 女134	41 男22 女19	6.1	199〔57%〕	168.5 男168.2 女168.7
2020	458 男231 女227	30.5	194 男92 女102	26 男10 女16	7.5	164〔55%〕	135.6 男130.9 女139.9
2019	570 男298 女272	38.0	288 男166 女122	19 男12 女7	15.2	203〔68%〕	161.6 男159.9 女164.0
2018	514 男286 女228	34.3	258 男152 女106	16 男10 女6	16.1	223〔74%〕	183.3 男182.1 女185.1

※2020年～2018年まではC日程(定員15名)、300点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各50点)
2021年以降は350点満点(国語・算数 各100点、理科・社会 各75点)

国語

出題の方針とねらい

文章のジャンルに左右されない基礎的な読解力を、設問ごとの難易度の差によって段階的に測っています。
2022年度入試まで実施していた200字で意見文を書く大問の代わりに、2023年度入試から、思考力を測る設問(「本文について生徒が話し合った」「本文の内容を図にまとめた」など)を大問2・3に1問ずつ設けています。

出題内容(2023年度)

大問	第1回入試	第2回入試	第3回入試
1	漢字の書き取り 8問	漢字の書き取り 8問	漢字の書き取り 8問
2	太田省吾『舞台の水』所収 「嗅ぐ」(1993) 本文2,900字(4,300字) 論述1問	山下祐介『地域学をはじめよう』(2020) 本文4,400字(6,500字) 論述1問	中谷宇吉郎『科学の方法』(1958) 本文4,200字(6,000字) 論述1問
3	瀬尾まいこ『夏の体温』(2022) 本文3,900字(7,200字) 論述なし	梨木香歩『りかさん』(2003) 本文4,600字(6,600字) 論述1問	江國香織『つめたいよるに』所収 「僕はジャングルに住みたい」(2014) 本文3,700字(7,000字) 論述1問

※ 第2問:説明的な文章の読解 第3問:文学的な文章の読解

2023年度入試を振り返って

第1回入試:易しめな大問3(文学的文章)でしっかり得点したうえで、本文の抽象度が高い大問2(説明的文章)も理解しきって得点につなげられるかどうか合計点に現れる、という問題構成でした。

第2回入試:大問2・3とも本文は難しくはありませんでしたが、大問3の方が細部まで理解することが必要な設問でした。第1・3回と大問の難易度のバランスが逆でしたが、男女の差は変わりませんでした。

第3回入試:第1回と似た構成でした。特に大問2の本文は、冒頭から抽象的な内容だったので、ここの理解度の差が本文全体の理解度の差となったようです。

入試に向けた学習のポイント

漢字の書き取り:言葉自体を知らないと、同音同訓異字を書いてしまいます。書き取りの回数を重ねること以上に、覚えた言葉を日常で使ってみて意味を体にしみこませることが重要です。

説明的な文章の読解:設問には「本文のここからここまでの内容を理解しているかどうかを確認する」という分担があります。本文を話題で区切っていくことから始めましょう。直前の表現ばかりに目を向けてはいけません。

文学的な文章の読解:人の気持ちには、その原因となった出来事や他者の発言が影響しています。そういう観点で主人公たちの様子を追うようにしてください。

〈注意〉第1回入試の「論述はどちらかで1問出題」は本年度は大問2でしたが、次年度も同じとは限りません。

算数

出題の方針とねらい

算数は筋道を立て、根気強く問題を解いていく教科です。本校では、基本的な計算力があり、課題にしっかり取り組み、最後までねばり強く問題を解く姿勢をもった生徒に入学して欲しいと考えていますので、そのような力を測る問題作りに努めています。そのため、各日程とも問題の難易度は基本～標準レベルで設定しています。

出題内容(2023年度)

大問	帰国生入試	第1回入試	第2回入試	第3回入試
1	計算問題(5問)	計算問題(4問)	計算問題(4問)	計算問題(4問)
2	小問集合(6問)	小問集合(6問)	小問集合(6問)	小問集合(6問)
3	図形	整数	整数※	立体図形
4	整数※	平面図形	データの活用	整数※
5	速さとグラフ	時間と速さの関係	速さとグラフ	時間と速さの関係
6		データの活用	平面図形	速さとグラフ

※印:短い文章で理由を答えてもらう記述問題あり

2023年度入試を振り返って

帰国生入試:大問1(計算問題)の「計算の工夫」、大問2(小問集合)の「距離」や「比」に関する問題、大問5の「速さとグラフ」の問題は、本校では過去の2月入試に類似問題が多く出題されています。そこでしっかりと得点できた生徒が、受験を有利にできたのではないかと分析しています。

第1回入試:大問2(小問集合)の後半3問、大問4の「平面図形」、大問5の「速さ」の問題で合否の差が出ました。「平面図形」は求める値を工夫して求めること、「速さ」は離れた2点の動きを的確に捉え計算できることが鍵となりました。

第2回入試:大問1(計算問題)の「逆算」の問題、大問2(小問集合)の「速さ」の問題、大問5の「速さとグラフ」の問題で合否の差が出ました。「速さとグラフ」は本校では頻出です。2人の動きを問題文とグラフから正確に捉える導ける計算力と思考力が必要です。

第3回入試:大問2(小問集合)の「比」「割合」の問題、大問3の「空間図形」の問題で合否の差が出ました。「空間図形」は、側面が合同な長方形でつくられる2つの円柱の体積の「比」に関する問題で、比を苦手としている受験生が多いのかもしれませんが、比の問題は毎年必ず問われるタイプの問題です。

入試に向けた学習のポイント

計算問題(大問1):毎日計算練習をすることも大事ですが、「効率よく」「正確に」計算できるようにすることも大切です。時には「暗算」の訓練を試みるのも、計算力アップに繋がると思います。

小問集合(大問2):過去問はもちろんのこと、市販の問題集でも「よく見かける」タイプの問題が多いですから、まずはそのような問題集を解いて「考え方、計算の基礎・基本」を身につけてください。

思考力を問う問題(大問3～6):解答の暗記ではなく、なぜそうなるのか理由を考え、根気強く答えを導く訓練が必要です。正しい筋道を立てるには、まずは思考を整理すること。そして、そこで出てくる新しい問いにさらに向き合いながら、考え方をブラッシュアップしていくこと。長い道のりかもしれませんが、日常生活の中でそれを意識して過ごすことで、論理的な思考力が身につけてくるものだと思います。

出題の方針とねらい

物理、化学、生物、地学の各分野から出題します。どの分野も実験や観察、生活の中で見られる現象をもとにした問題です。知識を問う問題の他、文章や図から読み取る力はあるか、情報を整理して解答を導き出す力はあるかを確認する問題も出題します。

出題内容(2023年度)

大問	第2回入試	第3回入試
1	世界の地学現象(地学分野)	電気、てこ(物理分野)
2	状態変化、溶解度(化学分野)	火山(地学分野)
3	身近な植物(生物分野)	固体・液体・気体(化学分野)
4	力のつり合い(物理分野)	血液循環(生物分野)

2023年度入試を振り返って

第2回入試: 地学: 計算問題や地磁気の問題で正答率で高得点者の中でも、不正解が見られました。
化学: 溶解度の計算や図の読み取り問題で、全受験生と合格者で大きな差が出ました。
生物: 実験結果の読み取りや実験結果から考察を選択する問題で正答率が低くなりました。
物理: 棒のつり合いの問題で正答率が低くなりました。

第3回入試: 物理: 手回し発電機とコンデンサーの接続の問題で正答率が低くなりました。
化学: 固体・液体・気体の状態を表す図の読み取りの問題で正答率が低くなりました。
生物: 文章中から語句を抜き出すなど、文章の読み取りの問題で正答率が低くなりました。
地学: 観察方法や太陽の動きなど、他分野を総合した力を問う問題で正答率が低くなりました。

入試に向けた学習のポイント

物理分野: 身の回りにある道具や装置が、どのような仕組みになっているのかを考えられるように意識してみてください。教科書に掲載されている「発展」的な内容にも目を通し、理科で学んだ法則や原理との関係を考える習慣を身につけましょう。計算問題にも対応できるように、過去問を利用して練習をしておきましょう。

化学分野: 知識問題はもちろんのこと計算問題も出題されます。比や割合に苦手意識がある人は、算数で比と割合の分野を復習することをおすすめします。また、表やグラフを読み解く問題や、初めて読む文章を理解して答える問題も出題されます。表・グラフ、リード文が意図していることを把握する練習を行いましょう。

生物分野: 実験問題や、長文を読んで答える問題が出題されます。どちらもしっかりと文章を読むことが大切です。単に基礎知識を覚えるだけでなく、それらがどのようにつながっているのかを意識して、考える力を身につけましょう。

地学分野: 図の読み取りや計算問題が出題されます。また、他分野の知識理解を踏まえた上での問題も出題されることがあります。グラフや図の読み取り、問題を解く際に他分野の知識を利用できる柔軟性を身につける練習をしてください。

出題の方針とねらい

・重要な用語や人物など、基礎的知識がしっかりと定着しているかを問う問題を出題します。
・知識と知識を結び付けることを通じて、社会的事象の内容や背景が理解できているかを問う問題を出題します。
・設問文・リード文や、統計・図表・史料などの資料の読み取りを通じて、社会的事象に対する認識力を問う問題を出題します。

出題内容(2023年度)

大問	第2回入試	第3回入試
1	「水資源」をテーマに、 地理的知識・技能・思考力を幅広く問う問題	「なぜ地理を学ぶのか」をテーマに、 地理的知識・技能・思考力を幅広く問う問題
2	「移動や交換」をテーマに、 基本的な知識・歴史の流れ・資料の読み取りに関する問題	「米」をテーマに、 基本的な知識・歴史の流れ・資料の読み取りに関する問題
3	「2022年の時事」を通じて、 日本の政治・社会のしくみについて問う問題	「沖縄」をテーマに、 日本の政治・社会のしくみについて問う問題

※大問1: 地理的分野 大問2: 歴史的分野 大問3: 公民的分野

2023年度入試を振り返って

第2回入試: 憲法・法律の制定や改正に関する問題や、選挙制度に関する問題などに不十分な点が見られたものの、地理的分野・歴史的分野・公民的分野ともに、基礎的知識については多くの受験生が定着できているようです。しかし、3分野ともに設問文や資料にある判断材料となる事柄に留意できなかった受験生が多く、設問文・リード文や資料を読み取って解答する問題では受験者正答率と合格者正答率で大きな差が見られました。重要な用語や人物を漢字で書けるように繰り返し書いて定着させることは不可欠ですが、日ごろから設問文・リード文や資料を、読み飛ばさずに時間をかけて丁寧に読む学習習慣を身につけるようにしたいです。

第3回入試: 公民的分野の地方自治に関する問題などに不十分な点が見られたものの、第2回入試と同様に、3分野ともに基礎的知識については多くの受験生が定着できているようです。一方、知識と知識を結び付け、つながりや因果関係といった内容や背景を理解できているかを問うと、正答率が大きく低下するとともに、受験者正答率と合格者正答率では10ポイント程度の差が見られました。用語や人物といった基礎的知識をしっかりと定着させることはもちろん、用語や人物についてその内容や背景を説明できるようにする学習を欠かさずに行う必要があります。

入試に向けた学習のポイント

地理的分野: 産業・人口・自然環境・貿易などから、日本の特徴や日本の各地域の特徴について出題します。日本と関係の深い国や、特徴的な国についても把握しておきましょう。統計資料や地図を読み取る問題もあるので、設問文やリード文を含め、それらの資料から何がわかるのか、時間をかけて丁寧に読み取る学習が不可欠です。

歴史的分野: 特定の時代に偏ることなく、古代から現代までの重要な出来事や人物、しくみなどについて出題します。資料の読み取りや、基礎的知識と資料の読み取りを組み合わせる問題もあります。歴史的事象の内容や背景を問う正誤問題や年代並び替え問題も出題するので、用語や人物について、その内容や背景を説明できるように学習を進めましょう。

公民的分野: 基本的人権、国会・内閣・裁判所、地方自治、選挙制度などを通じて、日本の政治や社会のしくみについて出題します。時事を題材に出題することもあります。学習が遅れがちな分野ですので、まずは漢字で書けるように繰り返し書いて基礎的知識を定着させ、過去問にしっかり取り組んで出題傾向をつかんでください。

出題の方針とねらい

英語には、実践的なコミュニケーション能力と、基礎を成す単語力や文法力の両方が不可欠です。試験問題は、基礎的な知識から読解力、作文力に至るまで、幅広い能力を測れるよう構成されています。全体の難易度としては、英検準2級程度を目安に作問をしています。

出題内容(2023年度)

大問	帰国生入試
1	語彙文法:四択空所補充(5問)
2	短文会話:四択空所補充(3問)
3	長文会話:空所補充(5問)
4	語彙文法:並べ替え(3問)
5	長文読解:客観問題(5問)
6	長文読解:客観問題(3問)・記述問題(2問)
7	自由英作文(1問)

2023年度入試を振り返って

帰国生入試: 文法問題については、コロケーションで基礎的な文法事項を問う問題であっても、準備してきた受験生と、そうでない受験生の間で差が開きました。会話文問題は正答率が非常に高く、どの受験生も良く解答できていました。また、長文読解問題と英作文問題についても良く解答できていましたが、一部の設問で、問われている内容から逸脱した解答も散見されました。

入試に向けた学習のポイント

語彙文法問題: 形式としては、四択空所補充や並べ替えといったオーソドックスなものですので、市販の問題集等で練習をすることが可能です。問題演習を通じて、基礎的な文法事項、品詞や文型、熟語等を定着させましょう。例年、語彙文法問題は差がつきやすいため、しっかり準備を行うことで、合格に近づきます。

会話文問題: 海外経験豊富な帰国生入試の受験生にとって、会話文問題は比較的取り組みやすいようです。現地で見聞きした会話表現を忘れないよう、海外の小説や映画に触れておくとういでしょう。また、英検にも会話問題の出題がありますので、問題演習をしたい場合には、英検の過去問や問題集が参考になると思います。

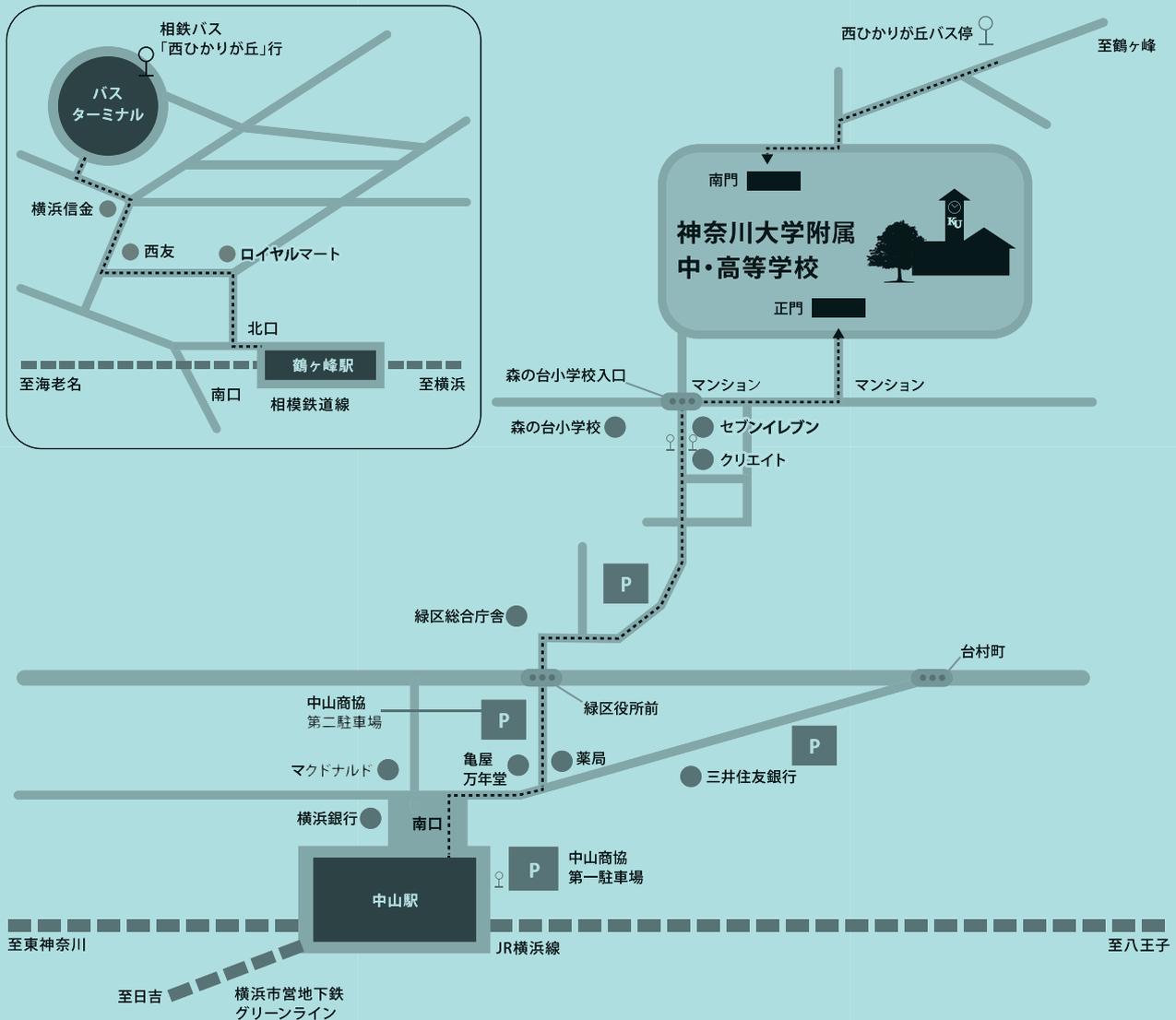
長文読解問題: 帰国生といえども、英語で論説文やニュース記事を読むことに慣れていない人は少ないかもしれません。海外の子供向けニュースサイトなどで、文章構造を意識しながら、様々なジャンルの英語記事を読む練習を重ねておくこと、試験問題の文章も読みやすくなります。また、記述式の問題もありますから、読んだ文章の要約をするなど、内容のアウトプットをする機会を設けると、さらに効果的です。

英作文問題: 限られた時間の中でまとまった量の文章を書かなければいけませんから、日ごろから作文の練習をしておくことが大切です。例年、受験生自身に関わることを英作文のトピックとして出題していますので、例えば英語で日記をつけるなど、日常的に自分自身のことを英語で表現する習慣があると、試験でも対応しやすくなります。最初は辞書を使わずに書き、表現が思い浮かばなかった部分や、表現に自信がない部分に関して、後から辞書で確認をすることで、語彙の拡充にも繋がると思います。

Q&A

種別	質問内容	回答
入試問題	難易度について教えてください。また、各入試回ごとの難易度に差はありますか？	難問・奇問はなく、基本から標準的な問題です。小学校で学習すべき内容を中心に問題を作成しています。各入試回での問題の難易度に差はありません。
	算数の途中式は採点されますか？また、理科の用語や社会の地名・人名は、漢字指定ですか？	・算数は結果のみの解答です。ただし、短い文章で理由を答える問題が一題あります(第1回を除く)。また、作図解答を求められる場合もあります。 ・理科や社会では漢字指定の問題もあります。漢字指定でない問題で、漢字を間違えた場合は不正解となります。
出願・入試当日	複数回受験による加点待遇などの優遇措置はありますか？	加点待遇や、追加合格の際の優遇措置はありません。検定料については各回25,000円ですが、3回を同時に出願する場合の検定料は合計50,000円となります。
	小学校に発行を依頼する書類はありますか？	出願に際して小学校に依頼する書類はありません。また、通知票のコピー等も必要ありません。
	自家用車での送迎や、駐車はできますか？	お車での送迎はご遠慮ください。近隣の迷惑となるため、学校周辺での乗降はくれぐれもおやめください。怪我などの事情がある場合は事前にご相談ください。タクシーを利用する場合は、近隣の迷惑となるため学校周辺で乗降せず、正門から入った先の乗降場所までお進みください。
	受験時にはメガネをかけて受験する予定ですが、受験票の写真はメガネをかけていない写真です。大丈夫でしょうか？	入試当日は、試験前に受験票の写真との「本人照合」があります。監督者が座席の近くまで行って確認をするので、その時にメガネを外してください。
	遅刻しそうな場合はどうすればよいですか？	集合時間に遅れる場合は、まずはお電話にてご連絡ください。
	試験中にハンカチやティッシュ、ひざ掛けの使用はできますか？	できます。なるべく試験前に監督に伝えてから使用してください。ただし、文字が入っているものは使用不可です。ひざ掛けについてはコートや上着の代用でも可能です。
	携帯電話の持ち込みはできますか？	試験教室への持ち込みはできません。保護者や付き添い者が預かるか、付き添い者がいなければ持たせないよう、お願いいたします。
飲食物の持ち込みはできますか？	募集要項にはペットボトル・水筒の持ち込みは可との記載があります。食べ物については小さいチョコレートなど、一口で食べられるようなものであれば許容しています。	
午後他校の受験があります。終了後、優先的に退出はできますか？	申し訳ありませんが、できません。混雑回避のため受験番号順に退出し、受験番号ごとに指定されたエリアで付き添い者と合流していただきます。試験終了から全受験生の退出完了までは15分～20分程度です。	
合格発表	繰り上げ合格はありますか？	第1回、2回、3回の各回で追加合格を出す場合があります。2月10日までにお電話でご連絡します。
	特待生制度はありますか？	あります。成績優秀であり、他の生徒の模範となる者(各学年5名以内)を特待生として、1年間の授業料に相当する奨学金(米田吉盛教育基金奨学金)を給付します。新入生については、入学試験により各入試回ごとに高得点順に特待生を決定します。第1回2名、第2回2名、第3回1名の合計5名です。対象者は合格発表の際、表示されます。
	合格した後、特待生合格を目指して以降の入試回を受験することはできますか？	できます。
	入試得点の開示はしていますか？	本校では得点开示はしておりません。

学校までの経路



駅からのアクセス

● JR横浜線／横浜市営地下鉄グリーンライン

▶ 「中山駅」下車南口
→ 徒歩15分(約1km)

▶ 横浜市営バス「240系統」
森の台・台村循環中山駅前行
「森の台小学校入口」下車
徒歩3分



▶ 相鉄バス「旭15」
鶴ヶ峰駅行
「森の台小学校入口」下車
徒歩3分



● 相模鉄道線「鶴ヶ峰駅」下車北口

▶ 相鉄バス「旭11、旭15」
「西ひかりが丘」(約20分)下車
徒歩3分



※お車でのご来校はお断りしております。

〒226-0014 横浜市緑区台村町800
TEL: 045-934-6211 FAX: 045-934-6509
Eメールアドレス: fuzoku-koho@kanagawa-u.ac.jp